

9 教育費

1 教育総務費 2 事務局費

[担当：学務給食課] P.347

1501 通学区域審議会に要する経費 139,400 円 (101,600 円)

[一財 139,400 円]

○ 目的

小中学校通学区域の適正化を期するため、取手市通学区域審議会を組織する。

○ 内容

白山西小学校と稲小学校の統合により、統合後の通学区域の見直しを審議する通学区域審議会を組織し、小学校区域及び中学校区域の一部の通学区域を見直しする審議を行った。

○ 効果

通学区域審議会の審議により、統合後の通学区域の適正化による小中学校の通学区域の見直しをすることができた。

[担当：学務給食課] P.347

2201 通学送迎に要する経費 646,272 円 (598,080 円)

[一財 646,272 円]

○ 目的

旧高須小が桜が丘小に統合されたことに伴い、遠距離通学となる大留第1地区（小貝川左岸）の児童の安全な通学手段を確保する。

○ 内容

登下校時に、桜が丘小と対象児童の自宅の間をタクシーで送迎した。

対象者 大留第1地区の児童 1年生：1人

○ 効果

対象児童に対して、登下校時の安全な通学手段が確保できた。

[担当：学務給食課] P.349

2301 教育情報機器整備に要する経費 71,923,966 円 (38,758,787 円)

[一財 71,923,966 円]

○ 目的

高度情報化社会に対応した校務処理を行うため、教育情報ネットワークを構築し、教育委員会と小中学校の事務の効率化を図る。

○ 内容

- ・小中学校全校の校務事務の情報を教育委員会と学校が共有することで、教職員の事務の効率化を図る。
- ・市内全小中学校において、自宅より校務が行えるシステムの更新を実施した。

主な事業費内訳

- | | |
|-----------------|--------------|
| ・教職員情報ネットワーク使用料 | 4,302,190 円 |
| ・教職員用パソコン使用料 | 19,530,000 円 |

○ 効果

- ・教育委員会と学校が情報を共有する事で、事務の効率化が図れた。
- ・市内全小中学校において、自宅より校務が行えるシステムの更新を行ったことで、更なる教職員の事務の効率化が図れた。

1 教育総務費 3 育英事業費

[担当：教育総務課] P. 349

2101 奨学生貸付金 2,760,000 円 (2,880,000 円)

[その他 2,760,000 円]

* 特財内訳

[諸収入：奨学金貸付金元利収入 5,200,000 円(償還者数：28名)のうち 2,760,000 円]

○ 目的

経済的に修学が困難な大学生・短大生に奨学金を貸し付け、有為な人材を育成する。

○ 内容

貸付額 国公立大：月額 30,000 円、私立大：月額 40,000 円

種別	26年度	25年度	24年度
国公立大学	1名	0名	0名
私立大学	5名	6名	6名
合計	6名	6名	6名

○ 効果

経済的負担の軽減を行い、有為な人材の育成に寄与することができた。

1 教育総務費 4 教育研究指導費

[担当：指導課] P. 351

0501 教育振興に要する経費 72,455,461 円 (49,677,241 円)

[一財 72,455,461 円]

○ 目的

国際化、情報化、科学技術の飛躍的な発展の中で、変化の激しい社会に対応できる児童生徒の育成が必要である。基礎的・基本的な内容を確実に身につけさせ、自ら学び自ら考える力などの「生きる力」をはぐくむことができるよう、教育の充実を図る。

そこで、英語指導助手（ALT）との連携による授業、デジタル教科書を活用しての授業、学習ボランティアや心の先生を活用しての授業などの実践を行う。

○ 内容

- ・社会科副読本「わたしたちの茨城県」購入（小学4年生） 542,087 円
- ・社会科地図「わたしたちの取手市地図」印刷（小学3年生） 301,320 円
- ・社会科地図「取手市全図」印刷（中学1年生） 226,800 円
- ・社会科副読本「とりで」印刷（小学3年生） 1,458,000 円
- ・平成27年度使用小学校教師用教科書（上）・指導書購入 18,605,785 円
- ・英語指導助手業務委託料 47,304,000 円

英語指導助手（ALT）12人（中学校各校1人・小学校3校に1人配置）を民間専門業者に委託し、英語教育の充実に努めた。また、英語指導助手と児童生徒との交流により国際理解教育の充実を図った。

- ・デジタル教科書（指導用提示資料使用料） 2,449,440 円
- ・学習ボランティア謝礼 231,000 円
- ・「心の授業」「心の先生」講師謝礼 215,000 円
- ・学校問題解決サポートチーム員謝礼 18,900 円
- ・その他（需用費・負担金等） 1,103,129 円

○ 効果

学習指導要領に沿って、各教科等のねらいを達成する授業展開のため、教材等の充実が図られた。デジタル教科書を活用することで、視覚的、聴覚的に理解しやすい提示が可能であり、児童生徒の学習意欲を高めることができた。また、ALT の活用により、小学校の外国語活動、中学校の英語教育及び国際理解教育の充実が図られた。

[担当：指導課] P. 351

1001 特別支援教育に要する経費 2,756,211 円 (2,691,124 円)

[一財 2,756,211 円]

○ 目的

障害のある幼児児童生徒を支援し、保護者や教職員からの相談に応じるとともに、取手市内小中学校の特別支援教育の充実を図る。

○ 内容

(1) 特別支援教育相談員等の配置

幼児児童生徒の就学や適応に関する調査及び教職員や保護者に対する相談活動を行う。

- ・相談件数

区 分	H26 年度 (128 件)	H25 年度 (115 件)
未就学児に関して	80 件	66 件
在学児童生徒に関して	40 件	19 件
教職員から	8 件	30 件

(2) 就学指導委員会の実施

障害のある幼児児童生徒の適切な就学のため、医師・特別支援教育担当者等で構成する委員会において就学について協議・判定する。

- ・判定人数

区 分	H26 年度 (143 人)	H25 年度 (111 人)
新学齢児	67 人	46 人
在学児童生徒	76 人	65 人

(3) 特別支援教育サポート事業の実施

地域における特別支援教育相談体制を充実させるとともに、小中学校等における特別支援教育校内体制の整備と活用に関する支援を行う。

教職員や保護者向けの相談活動「ほのぼの相談会」や教職員向けの講演会などを企画・運営する。

- ・「ほのぼの相談会」相談件数

区 分	H26 年度 (20 件)	H25 年度 (15 件)
保 護 者	15 件	11 件
教 職 員	5 件	4 件

・講演会への参加者

区 分	H26 年度	H25 年度
特別支援教育講演会 (H26 年度から)	259 人	—

○ 効果

障害のある幼児等の課題について早期に発見できたことにより、幼稚園・保育所と小中学校が連携して適切な支援を行うことができた。

市内小中学校における特別支援教育校内体制を充実させることができた。

[担当：指導課] P. 353

2301 適応指導事業に要する経費 25,767,128 円 (25,508,652 円)

[一財 25,767,128 円]

○ 目的

不登校児童生徒等に対応するため学校や関係機関との連携のもとに、適切な援助指導を行う。不登校等の状況に応じた指導支援が必要であり、適応指導教室を開設することにより、学習面、人間関係の面での指導支援を継続的に行う。

○ 内容

相談員と指導主事が、適応指導教室や学校において、教科の指導、集団での活動、個別の相談業務等を行った。これらを通して、児童生徒が自立しコミュニケーション力をつけ、学校生活に適應できるよう継続的に支援した。併せて、保護者との面談も行った。

・指導主事派遣負担金等	9,699,024 円
・教育相談員報酬	8,466,000 円
・子どもと親の相談員謝礼	4,269,000 円
・教育相談センター維持管理経費等	3,333,104 円

○ 効果

教育相談センターにおける相談業務について、指導主事が専門的助言を行うことにより相談業務の充実が図られた。また、教育相談センターの不登校児童生徒のための適応指導教室「ひまわり」では、教育相談員がきめ細かな指導支援を行い、平成 26 年度は小中学生計 7 人の通室者のうち、全員が学校生活に復帰することができた。

年 度	通室者数	復帰数	復帰率
H26	7 人	7 人	100%
H25	10 人	6 人	60%

子どもと親の相談員を全小中学校に配置し、児童生徒及び保護者のための相談活動を充実させることができた。

[担当：指導課] P. 353

3901 移動学習バス委託事業に要する経費 2,106,000 円 (1,548,750 円)

[一財 2,106,000 円]

○ 目的

児童生徒が校外で直接見聞する学習を充実させるため、移動に必要なバスを運行して、校外での学習活動を支援する。

○ 内容

民間のバス会社に委託し、主に小学校 3・4 年生での校外学習に活用した。中学校では取手一中の水泳学習で旧取手一中のプールを使用しているため、生徒の移動に活用した。また、職場体験学習の際の移動に活用した。

行き先 小学校：常総環境センター、利根川浄水場、市内スーパー・工場等

中学校：市内福祉施設等

年度	区分	利用校数	利用回数	児童生徒数	バス台数
H26	小学校	18 校	36 回	1,660 人	52 台
	中学校	2 校	4 回	282 人	6 台
	取手一中水泳	1 校	7 回	871 人	18 台
H25	小学校	18 校	36 回	1,799 人	56 台
	中学校	2 校	2 回	135 人	3 台

○ 効果

学習内容に関連する公共施設や工場等を直接訪れることにより、児童生徒の学習への関心・意欲を高めることができ、校外での学習の充実が図られた。

[担当：指導課] P. 355

4201 日本語指導員に要する経費 2,155,757 円 (1,138,710 円)

[一財 2,155,757 円]

○ 目的

日本語指導を必要とする帰国児童生徒及び外国人児童生徒への日本語の指導を行い、学校生活を支援する。

○ 内容

- (1) 学校での日本語指導への協力
- (2) 教科書・指導資料等の翻訳
- (3) 学校での保護者との通訳等

○ 効果

日本の学校生活への適応が図られた。

年度	指導員数	支援対象児童生徒の言語の内訳
H26	8 人	英語 5 人 中国語 2 人 ポルトガル語 1 人
H25	5 人	英語 4 人 中国語 1 人

[担当：指導課] P. 355

4501 学力向上推進事業に要する経費 4,041,753 円 (4,068,418 円)

[国・県 893,800 円 一財 3,147,953 円]

* 特財内訳

[県委：学びの広場サポートプラン委託金 893,800 円]

○ 目的

児童生徒に基礎的・基本的な学習内容の定着を図り、確かな学力を育成する。また、指導体制や指導方法等の研修を深め、教員の資質向上を図る。

○ 内容

- 7～8月 夏休み算数スクール講師謝礼 546,000円
(市立全小学校6学年に学習支援員を1人ずつ5日間配置)
学びの広場サポートプラン講師謝礼 849,000円
(市立小学校4・5年に学習支援員を1人ずつ5日間配置)
- 10月1日 学力向上研修会
- 1月22日 国語授業力向上研修会講師謝礼等 32,100円
- 1～3月 理科特別授業講師謝礼等(小学校9回分) 171,595円
- 学力向上に関する特色ある取組経費 各小中学校消耗品費 2,397,998円
研修用図書等消耗品費 45,060円

○ 効果

研修会や講演会を通して教職員の資質向上を図った。特に国語科、算数・数学科においては、研修内容が即授業実践につながるなど、実効性の高い研修となり、事業の成果向上が見られた。

さらに、小学生4年生以上を対象に長期休業期間中、特に算数における基礎学力の定着を図ることで、児童の学ぶ意欲の向上を図り確かな学力を育成することができた。また、理科では小学校に理科特別授業講師を派遣し、理科への興味関心を高めるとともに小学校理科教育の一層の活性化と充実を図ることができた。

[担当：指導課] P. 355

4801 小中連携（一貫）教育推進事業に要する経費 1,212,162円（1,110,305円）

[一財 1,212,162円]

○ 目的

中学校生活への適応や学力の向上などをねらった小中連携（一貫）の取組をモデル学区の研究成果を踏まえて、市内の各中学校区において推進する。

○ 内容

小中連携（一貫）教育を推進するための視点を明らかにし、それを踏まえた具体的施策を各中学校区において実践する。

※小中連携（一貫）教育推進のための視点

- ① 教科担任制など、中学校生活への適応
- ② 小中教師それぞれの特長を生かした教師間交流
- ③ 児童生徒間の交流
- ④ 生徒指導の一貫性や学校生活への適応
- ⑤ 教育課程の連続性や教育内容の一貫性
- ⑥ 学力向上

事業の取組を充実させるため、9年間を貫くキャリア教育を支援する地域人材の活用や、児童生徒の交流活動に係る移動用バスの運行などの環境整備を行う。

- | | |
|------------------------|----------|
| ・講師謝礼 | 575,000円 |
| ・児童生徒の交流活動移動用バス代、楽器運搬費 | 570,580円 |
| ・その他消耗品等 | 66,582円 |

○ 効果

中学校生活への適応や一貫性のある生徒指導などについて、全中学校区で実践が深まった。小中間の連携が図られ、併せて、小中学校の教師間交流による研修を充実させることができた。また、バスや楽器運送用トラックを活用して児童生徒の交流活動を充実させた。小中連携の取組についてリーフレットを作成し、啓発や一般化を図ることができた。小中学校が、連携した同一時間帯の避難訓練、小中合同挨拶運動、小中学生が互いの学校を訪問するなどの交流が充実した。

さらに、地域人材を活用したキャリア教育についての講演を各校で行い、児童生徒に将来への視野を広げさせることができた。

[担当：指導課] P. 355

5001 公共プールを活用した中学校水泳学習推進事業に要する経費

1,439,551 円 (1,137,063 円)

[一財 1,439,551 円]

○ 目的

中学校の水泳学習を公共のプール活用により、夏季以外でも水泳学習を行うことで、計画的・効率的に学習を進めることができ、水泳学習の質の向上を図る。

○ 内容

取手グリーンスポーツセンターのプールにおいて、水泳学習を行う。生徒の移動は安全面を配慮し市有バスと借上げバスを利用する。

- ・講師謝礼等 953,551 円
- ・生徒の移動用借上げバス代 486,000 円

○ 効果

永山中学校全学年において、それぞれ3回、計9回の水泳学習を行った。公共プールの利点を生かし、天候に左右されず、年間を見通して計画的・効率的に授業を実施することができた。

生徒の泳力に応じたコース(3コース)を設定し、個に応じた指導ができ、泳力が向上した。また、指導員がそれぞれのコースに配置されたことによりきめ細かな指導と安全確保ができた。

[担当：指導課] P. 355

5101 インクルーシブ教育システム構築モデルスクール事業に要する経費

1,195,574 円 (1,074,012 円)

[国・県 1,195,574 円]

* 特財内訳

[国委：インクルーシブ教育システム構築モデル事業委託金 1,195,574 円]

○ 目的

障害のある児童生徒と障害のない児童生徒が共に学ぶ教育システムの構築に向け、児童生徒の状況に応じて提供する合理的配慮の実践事例を蓄積し、合理的配慮のための校内体制の整備等について実践研究を行う。

○ 内容

モデル校における「インクルーシブ教育システム構築モデル事業」では、障害のあ

る子供のその状況に応じた合理的配慮の実践事例を蓄積するとともに、合理的配慮のための校内体制の整備等について実践研究を行った。この研究では、専門家協力員や合理的配慮協力員のアドバイスを生かした実践を積み重ね、デジタルカメラ等を活用して記録化することができた。

- ・ 専門家協力員等への謝礼 744, 132 円
- ・ 研修、研究発表会等出席時旅費 6, 220 円
- ・ 参考図書等事務用品購入費等 445, 222 円

○ 効果

支援を要する児童への合理的配慮が明確になり効果的な取り組みの実践事例を蓄積することができた。また、合理的配慮に関して専門家のアドバイスを得て学校と保護者、スクールカウンセラー等との連携が深まった。

[担当：指導課] P. 355

5201 学校保健・学校安全研究推進校事業に要する経費 45, 000 円 (50, 000 円)

[国・県 45, 000 円]

* 特財内訳

[県委：学校保健・学校安全研究推進校委託金 45, 000 円]

○ 目的

児童生徒の健康・安全に関する今日的課題について実践的研究を行い、その充実を図る。

○ 内容

参考図書・事務用品 45, 000 円

○ 効果

研究推進校の生徒の健康・安全に関する意識の向上について普段の生活の様子や観察、アンケート調査により把握し、実態に即した指導をすることにより、体や心の健康、生活の安全についての学習を推進することができた。

1 教育総務費 5 青少年育成費

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 357

1001 青少年健全育成に要する経費 10, 730, 772 円 (10, 647, 497 円)

[国・県 59, 660 円 その他 13, 560 円 一財 10, 657, 552 円]

* 特財内訳

[県補：青少年相談員店舗訪問業務補助金 59, 660 円]

[諸収入：特別青少年相談員雇用保険料本人負担分 13, 560 円]

○ 目的

青少年センターに配置した特別青少年相談員と各地区から委嘱した青少年相談員を中心に、青少年自身や保護者からの悩みごとや困りごとなどの相談を受けるとともに、学校や関係機関団体と協力して街頭指導を行い、問題行動の早期発見、早期解消を図り、青少年が安心して生活できる街づくりに努める。

また、青少年育成団体に助成を行うことにより、青少年の健全育成に関わる市民活動の活性化を図る。

○ 内容

- ・報酬 青少年相談員報酬 6,091,200円(月額9,400円×54人×12か月)
206,800円(月額9,400円×2人×11か月)
特別青少年相談員報酬 2,712,000円(月額113,000円×2人×12か月)
- ・負担金、補助及び交付金 5団体 1,280,800円

○ 効果

この事業を通して青少年健全育成の意識の高揚が図られ、青少年の心身の健全なる育成を推進することができた。

2 小学校費 1 学校管理費

[担当：学務給食課] P.359

2001 小学校管理に要する経費 238,510,739円(224,622,730円)

[その他 6,632,741円 一財 231,877,998円]

* 特財内訳

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 5,300,000円]

[使用料：学校開放小学校体育館使用料 821,900円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 131,785円]

[諸収入：工事に伴う市内小中学校光熱水費使用料 379,056円]

○ 目的

教育環境の更なる充実を図ることで、児童の学習意欲を向上させ、「確かな学力」へと繋げる。

○ 内容

- ・TT(ティームティーチング)特別配置事業により、県からのTT加配がしていない小学校7校(井野小、小文間小、白山西小、戸頭西小、吉田小、高井小、山王小)にTT非常勤講師を配置し、課題別学習など多様な学習を展開し、個々に応じたきめ細かな指導を行った。(7,818,071円)
- ・教育補助員を17校(取手小、白山小、寺原小、永山小、井野小、白山西小、戸頭西小、吉田小、戸頭東小、稲小、高井小、山王小、六郷小、藤代小、宮和田小、久賀小、桜が丘小)に配置し、障害のある児童の生活支援を行った。(60,536,104円)

○ 効果

TT非常勤講師の配置により個々に応じた対応ができ、基本的な学力の定着が図れた。また、教育補助員を配置することで、障害のある児童の生活支援ができた。

[担当：教育総務課] P.361

2101 小学校施設管理に要する経費 47,094,336円(41,936,408円)

[その他 1,694,368円 一財 45,399,968円]

* 特財内訳

[諸収入：学校災害賠償補償保険金 1,694,368円]

○ 目的

適切な維持管理により、小学校施設を良好な状態に保つ。

○ 内容

(1) 需用費

項 目	内 容	金 額
消耗品費	各小学校施設補修用消耗品の購入	1,758,139円
	各小学校施設補修用消耗品の購入(学校配当分)	185,698円
修繕料	各小学校の施設修繕料	10,249,541円
	各小学校の施設修繕料(学校配当分)	4,342,569円

(2) 役務費

項 目	内 容	金 額
手数料	浄化槽の法定点検手数料	68,000円
火災保険料	各小学校施設の火災保険料	1,179,290円

(3) 委託料

委 託 名	内 容	金 額
学校警備委託	各小学校の機械警備	5,499,705円
浄化槽維持管理及び清掃委託	浄化槽の維持管理及び清掃(小文間小、永山小、山王小、六郷小、宮和田小)	2,160,000円
消防設備保守点検委託	各小学校の消防設備の保守点検	3,056,400円
排水管清掃委託	各小学校の排水管の清掃	529,200円
電気管理技術者代行委託	各小学校の電気設備の安全管理	2,985,660円
プールろ過装置保守点検委託	各小学校のプールろ過装置の保守点検	668,520円
高架水槽及び受水槽清掃委託	各小学校の高架水槽、受水槽の清掃	775,440円
草刈清掃委託	小学校隣接地の除草(取手小、白山小)	1,359,720円
樹木消毒委託	各小学校の樹木の消毒	1,798,200円
樹木剪定委託	各小学校の樹木の剪定	2,350,480円
空調設備保守点検委託	空調設備の保守点検(取手小、桜が丘小、山王小、六郷小、宮和田小、藤代小、久賀小)	703,080円
テレビ共同受信設備保守点検委託	テレビ共同受信設備の保守点検(取手小、藤代小)	1,566,000円
エレベーター保守点検委託	エレベーターの保守点検(取手小、寺原小、永山小)	2,293,920円
太陽熱温水設備保守点検委託	太陽熱温水設備の保守点検(取手小)	178,200円
雨水調整槽等保守点検委託	雨水調整槽の保守点検(取手小)	311,040円

(4) 使用料及び賃借料

項 目	内 容	金 額
使用料及び賃借料	電柱共架料	102,554円
	空調設備使用料(高井小)	1,205,280円

○ 効果

適切な維持管理により、小学校施設を良好な状態に保つことができた。

[担当：学務給食課] P. 363

2201 小学校保健衛生に要する経費 29,480,283円(30,386,570円)

[その他 2,152,264円 一財 27,328,019円]

* 特財内訳

[負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金 @460×4,522人=2,080,120円]

[諸収入：学校災害賠償補償保険金 72,144円]

○ 目的

学校保健安全法の規定に基づく健康診断の実施と学校環境衛生検査の実施等を中心とした活動を通して、児童及び教職員の健康の保持増進を図る。

○ 内容

- ・学校嘱託医(27名)、歯科医(24名)、薬剤師(18名)、産業医(17名)の報酬
- ・児童、教職員健康診断委託 委託先：(社)取手市医師会

小学生

区分	腎臓検診	蟻虫検査	貧血検査	心臓検診	結核精密検査	小児生活習慣病
対象	全学年	1・2・3年	4年	1年	精密検査対象者	4年
H26	4,972人	2,384人	631人	876人	11人	631人
H25	5,034人	2,447人	664人	943人	2人	664人

※腎臓検診の人数は二次検査者を含む。

※心臓検診の人数は心音図検査者と12誘導心電図検査者の合計。

職員

区分	腎臓検診	貧血検査	心臓検診	生化学検査 血圧・身体・腹囲測定	胃検診	胸部検診
H26	33人	33人	33人	33人	9人	30人
H25	27人	27人	27人	29人	9人	29人

- ・学校環境衛生検査の実施（学校プール水質検査・教室等の環境検査・水道管理検査）

○ 効果

生徒及び教職員の健康の保持増進が図れた。

[担当：教育総務課・学務給食課] P. 365

2301 小学校統廃合に要する経費 21,987,180円

[その他 8,957,000円 一財 13,030,180円]

特財内訳

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 8,757,000円]

[諸収入：学校給食用冷凍庫保管設備助成金 200,000円]

○ 目的

取手市立小文間小学校、井野小学校及び吉田小学校と戸頭西小学校及び戸頭東小学校の閉校準備と統合小学校の開校準備を行う。

○ 内容

平成27年3月に閉校する対象校5校の閉校に係る経費と、平成27年4月から開校する統合小学校に必要な経費である

- ・校歌・校章の作成謝礼、閉校記念品 1,500,678円
- ・統合校名札、閉校式次第印刷費・消耗品 773,167円
- ・閉校式出欠確認用ハガキ代 7,800円
- ・引越業務委託料 6,264,000円
- ・スクールバス案内表示 130,464円
- ・統合サイン工事 972,000円

・ 統合校校旗、印旗、体育館舞台幕等	2,559,769 円
・ 学校ポータル統合業務委託料	1,944,000 円
・ 戸頭東小学校パソコン教室移設業務委託料	291,600 円
・ 理科室不用薬品処分委託料	159,840 円
・ 吉田小学校非常通報装置移設委託料	238,140 円
・ パソコン教室データ統合委託料	111,196 円
・ 給食用備品の移設及び購入等	7,034,526 円

○ 効果

統合準備協議会での協議結果に基づき、統合校が円滑に開校できるように準備をすることができた。また、平成 27 年 3 月 31 日をもって閉校する 5 つの小学校でそれぞれ閉校式を行い、児童、教職員、関係者の他、多くの卒業生や地域の方にご列席いただき盛大に行うことができた。

2 小学校費 2 教育振興費

[担当：学務給食課] P. 367

2001 小学校教育振興に要する経費 12,361,333 円 (13,666,445 円)

[一財 12,361,333 円]

○ 目的

学校行事等の経費及び教材教具の充実と維持管理を図る。

○ 内容

主に教育教材の維持管理に要する経費である。

教材用消耗品 (18 校) 10,845,049 円

○ 効果

学校行事等の経費や教材教具を整えたことにより、より良い学習効果が得られた。

[担当：学務給食課] P. 367

2101 小学校教育設備及び教材費に要する経費 31,585,530 円 (39,235,908 円)

[国・県 855,000 円 一財 30,730,530 円]

* 特財内訳

[国補：理科教育設備整備費等補助金 855,000 円]

○ 目的

教材台帳の整備基準に基づき、教育設備及び教材を整備し、良好な学習環境を保つ。

○ 内容

(単位：円)

区分	児童用教材	理科教材	図 書	特別支援 学級教材	合 計
H26	16,169,359	3,058,891	9,812,194	656,286	29,696,730
H25	16,258,723	11,747,472	8,448,448	815,001	37,269,644

○ 効果

各教科の指導を進めるうえで不可欠な教材教具及び図書、理科備品を整備することで、良好な教育環境を保つことができた。

[担当：学務給食課] P. 367

2201 小学校コンピュータ整備に要する経費 21,320,556円 (29,032,565円)

[一財 21,320,556円]

○ 目的

高度情報化社会に対応した学習活動を行うために、インターネット回線を利用した教育環境の充実を図る。

○ 内容

主に小学校18校のパソコン使用料(各校21台)に要する経費である。

○ 効果

小学校18校において、パソコン教材を活用した学習により、一層の教育の充実が図れた。

[担当：学務給食課] P. 369

2301 要保護・準要保護児童就学奨励費 32,939,659円 (31,442,351円)

[国・県 2,189,000円 一財 30,750,659円]

* 特財内訳

[国補：要保護児童就学奨励費補助金 80,403円×1/2≒40,000円]

[国補：特別支援教育就学奨励費補助金 3,604,189円×1/2以内≒1,636,000円]

[県補：県被災児童就学支援等事業補助金 512,954円×10/10≒513,000円]

○ 目的

学校教育法に基づき、経済的理由により就学困難な小学校児童の保護者に対し、教育費の援助を行うことで、教育環境の向上に寄与する。

○ 内容

給食費、学用品費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、医療費を援助した。

・要保護、準要保護及び被災児童就学奨励者数

区分	要保護数	準要保護数	被災児童数	合計
H26	22人	419人	8人	449人
H25	23人	421人	10人	454人

・特別支援教育就学奨励者数

区分	在籍者数	該当者数
H26	156人	119人
H25	149人	109人

○ 効果

保護者に対し経済的援助を行うことにより、教育環境の向上に寄与することができた。

[担当：指導課] P. 369

2901 小学校特別活動助成に要する経費 2,306,517円 (2,216,281円)

[一財 2,306,517円]

○ 目的

音楽発表・体育大会等を通して児童の活動への意欲を高める。

○ 内容

- ・音楽発表会送迎バス借上料・楽器運搬費 919,600 円
- ・陸上記録会補助金 1,310,000 円
- ・その他（賞状印刷代） 76,917 円

○ 効果

市音楽会、体育大会等への参加により、児童のスポーツ等への関心意欲が高まり、活動意欲の向上が図られた。

2 小学校費 3 学校建設費

[担当：教育総務課] P.369

2101 小学校施設整備に要する経費 21,820,210円(22,239,262円)

[地方債 6,300,000円 その他 374,000円 一財 15,146,210円]

* 特財内訳

[市債：合併特例債 6,674,400円×95%≒6,300,000円]

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 374,000円]

○ 目的

各小学校の施設を整備し、教育環境の充実を図る。また、空調設備設置工事の実施設計を行い、平成27年度に速やかに工事が実施できるよう準備を進める。

○ 内容

- ・空調設備設置工事实施設設計業務委託 6,674,400円
- ・施設管理営繕工事 13,498,920円

○ 効果

各小学校施設の整備を行い、安全かつ快適な教育環境を提供することができた。また、空調設備設置工事の実施設計を行い、平成27年度工事実施に向けての準備が進められた。

[担当：教育総務課] P.371

22 小学校建設事業に要する経費 1,072,881,720円(407,461,033円)

〈999,798,120円〉※〈〉は、うち25年度繰越分

[国・県 354,776,600円〈304,049,000円〉 地方債 712,600,000円〈695,700,000円〉
その他 5,456,000円 一財 49,120円]

* 特財内訳

[国補：公立学校施設整備費国庫負担金 〈107,976,000円〉]

[国補：学校施設環境改善交付金 〈196,073,000円〉]

[県補：再生可能エネルギー導入促進事業費補助金 50,727,600円]

[市債：合併特例債 〈(999,798,120円－304,049,000円)×100%≒695,700,000円〉]

[市債：合併特例債 17,820,000円×95%≒16,900,000円]

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 5,456,000円]

○ 目的

永山小学校再生可能エネルギー導入工事及び吉田小学校校舎増築工事、既存校舎の大規模改造工事ならびに、戸頭東小学校校舎の大規模改造工事を行い、学校施設の充実を図る。また、平成28年4月に予定されている学校統廃合に合わせ存続校となる、

稲小学校校舎及び体育館の大規模改造工事实施設計を行い、平成 27 年度に速やかに工事が実施できるよう準備を進める。

高井小学校校舎・体育館ならびに藤代小学校校舎においては、老朽化が著しいことから大規模改造工事实施設計（藤代小は実施設計見直し）を行い、平成 27 年度以降に速やかに工事が実施できるよう準備を進める。

○ 内容

- ・ 永山小学校 50,727,600 円
 - 再生可能エネルギー導入工事 50,349,600 円
 - 再生可能エネルギー導入工事实施設計 378,000 円
- ・ 吉田小学校 619,854,120 円
 - 〈校舎増築工事 367,404,120 円〉
 - 〈校舎増築工事監理委託 7,560,000 円〉
 - 〈校舎大規模改造工事 239,328,000 円〉
 - 〈校舎大規模改造工事監理委託 5,562,000 円〉
- ・ 戸頭東小学校 309,204,000 円
 - 〈校舎大規模改造工事 302,400,000 円〉
 - 〈校舎大規模改造工事監理委託 6,804,000 円〉
- ・ 稲小学校 9,180,000 円
 - 校舎・体育館大規模改造工事实施設計 9,180,000 円
- ・ 高井小学校 8,640,000 円
 - 校舎・体育館大規模改造工事实施設計 8,640,000 円
- ・ 藤代小学校 75,276,000 円
 - 校舎大規模改造工事实施設計見直し業務委託 4,536,000 円
 - 〈校舎トイレ改修工事 70,740,000 円〉

○ 効果

永山小学校再生可能エネルギー導入工事及び吉田小学校校舎増築工事、既存校舎の大規模改造工事ならびに、戸頭東小学校校舎の大規模改造工事を行い、学校施設の充実が図られた。

平成28年4月に予定されている学校統廃合により、存続校となる稲小学校の校舎大規模工事实施設計業務委託を行い、平成27年工事实施に向けての準備が進められた。

高井小学校校舎・体育館ならびに藤代小学校校舎の大規模改造工事实施設計業務委託（藤代小は実施設計見直し）を行い、平成27年度以降に速やかに工事が実施できるよう準備が進められた。

2 小学校費 4 学校給食費

[担当：学務給食課] P. 373

2001 給食運営に要する経費 302,618,754 円 (295,901,726 円)

[国・県 240,000 円 その他 179,400,272 円 一財 122,978,482 円]

* 特財内訳

[県補：米飯給食推進事業補助金 240,000 円]

[諸収入：小学校給食代（自校分） 179,369,999 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 30,273 円]

○ 目的

安全でおいしく、栄養バランスのとれた学校給食の提供。

○ 内容

主な経費

項 目	内 容	金 額
小荷物専用昇降機保守点検委託料	小荷物専用昇降機保守点検（15校）	1,499,256円
換気設備清掃委託料	給食室用換気設備の清掃（12校）	1,468,368円
給食排水槽清掃委託料	給食室用排水槽の清掃（12校）	1,820,880円
給食室病害虫防除委託料	給食室等の病害虫の防除（18校）	702,000円
学校給食調理業務委託料	調理業務を民間業者へ委託した。 （9校：取手小、白山小、寺原小、 井野小、白山西小、永山小、吉田小、 戸頭東小、稲小）	94,628,520円

○ 効果

安全で栄養バランスに配慮した給食の提供ができた。

[担当：学務給食課] P.375

2101 給食施設整備に要する経費 3,675,028円(3,454,161円)

[一財 3,675,028円]

○ 目的

給食施設、設備の整備や修繕を行うことで、給食室内の衛生管理の充実を図る。

○ 内容

施設修理や厨房機器等の修繕を行った。

○ 効果

給食室内の衛生管理の充実を図ることができた。

3 中学校費 1 学校管理費

[担当：学務給食課] P.377

2001 中学校管理に要する経費 64,385,097円(68,271,091円)

[その他 991,950円 一財 63,393,147円]

* 特財内訳

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 500,000円]

[使用料：学校開放中学校体育館使用料 402,500円]

[使用料：学校開放中学校武道場使用料 70,100円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 10,650円]

[諸収入：工事に伴う市内小中学校光熱水費使用料 8,700円]

○ 目的

教育環境の更なる充実を図ることで、生徒の学習意欲を向上させ、「確かな学力」へ繋げる。

○ 内容

教育補助員を2校（取手二中、藤代南中）に配置し、障害のある生徒の教育支援を行った。(1,990,546円)

○ 効果

教育補助員を配置することで、障害のある生徒の生活支援ができた。

[担当：教育総務課] P. 379

2101 中学校施設管理に要する経費 20,643,683円 (18,844,456円)

[一財 20,643,683円]

○ 目的

適切な維持管理により、中学校施設を良好な状態に保つ。

○ 内容

(1) 需用費

項 目	内 容	金 額
消耗品費	各中学校施設補修用消耗品の購入	504,568円
	各中学校施設補修用消耗品の購入(学校配当分)	56,590円
修繕料	各中学校の施設修繕料	6,245,870円
	各中学校の施設修繕料(学校配当分)	1,617,631円

(2) 役務費

項 目	内 容	金 額
手数料	浄化槽の法定点検手数料	48,000円
火災保険料	各中学校施設の火災保険料	559,641円

(3) 委託料

委託名	内 容	金 額
学校警備委託	各中学校の機械警備	2,229,120円
浄化槽維持管理及び清掃委託	浄化槽の維持管理及び清掃(永山中、藤代中、藤代南中)	1,161,000円
消防設備保守点検委託	各中学校の消防設備の保守点検	1,179,360円
排水管清掃委託	各中学校の排水管清掃	129,600円
電気管理技術者代行委託	各中学校の電気設備の安全管理	997,907円
エレベーター保守点検委託	エレベーター保守点検(取手一中、取手二中、藤代中)	1,663,200円
プールろ過装置保守点検委託	各中学校のプールろ過装置の保守点検	183,060円
高架水槽及び受水槽清掃委託	各中学校の高架水槽、受水槽の清掃	496,800円
樹木消毒委託	各中学校の樹木の消毒	723,600円
草刈清掃委託	学校敷地内の草刈(旧取手一中)	814,320円
樹木剪定委託	各中学校の樹木の剪定	1,718,920円
空調設備保守点検委託	空調設備の保守点検(藤代中、藤代南中)	125,496円
プール清掃業務委託	プールの清掃(旧取手一中)	151,200円

○ 効果

適切な維持管理により、中学校施設を良好な状態に保つことができた。

[担当：学務給食課] P. 379

2201 中学校保健衛生に要する経費 15,024,379円 (14,455,962円)

[その他 958,180円 一財 14,066,199円]

* 特財内訳

[負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金 @460円×2,083人=958,180円]

○ 目的

学校保健安全法の規定に基づく健康診断の実施と学校環境衛生検査の実施等を中心とした活動を通して、児童及び教職員の健康の保持増進を図る。

○ 内容

- ・学校嘱託医(13名)、歯科医(11名)、薬剤師(6名)、産業医(5名)の報酬
 - ・生徒、教職員健康診断委託 委託先:(社)取手市医師会
- 中学生

区分	腎臓検診	貧血検査	心臓検診	結核精密検査	小児生活習慣病
対象	全学年	2年	1年	精密検査対象者	2年
H26	2,407人	529人	934人	1人	529人
H25	2,443人	636人	909人	5人	636人

※腎臓検診の人数は二次検査者を含む。

※心臓検診の人数は心音図検査者と12誘導心電図検査者の合計。

職員

区分	腎臓検診	貧血検査	心臓検診	生化学検査 血圧・身体・腹囲測定	胃検診	胸部検診
H26	30人	30人	30人	30人	4人	24人
H25	34人	34人	34人	34人	5人	24人

・学校環境衛生検査の実施(学校プール水質検査・教室等の環境検査・水道管理検査)

○ 効果

生徒及び教職員の健康の保持増進が図れた。

3 中学校費 2 教育振興費

[担当:学務給食課] P.381

2001 中学校教育振興に要する経費 5,982,627円(6,689,759円)

[一財 5,982,627円]

○ 目的

学校行事等の経費及び教材教具の充実と維持管理を図る。

○ 内容

主に教育教材の維持管理に要する経費である。

教材用消耗品(6校) 5,982,627円

○ 効果

学校行事等の経費や教材教具を整え、より良い学習環境が得られた。

[担当:学務給食課] P.381

2101 中学校教育設備及び教材費に要する経費 15,835,878円(18,104,041円)

[国・県 570,000円 一財 15,265,878円]

* 特財内訳

[国補:理科教育設備整備費補助金 570,000円]

○ 目的

教材台帳の整備基準に基づき、教育設備の良好な環境を図る。

○ 内容

(単位：円)

区分	生徒用教材	理科教材	図 書	合 計
H26 (6校)	5,957,443	1,735,799	6,167,244	13,860,486
H25 (6校)	6,009,034	4,590,881	5,558,804	16,158,719

○ 効果

各教科の指導を進めるうえで不可欠な教材教具及び図書、理科備品を整備することにより、良好な教育環境を保つことができた。

[担当：学務給食課] P. 383

2201 中学校コンピュータ整備に要する経費 24,341,266円 (23,780,719円)

[一財 24,341,266円]

○ 目的

高度情報化社会に対応した学習活動を行うために、インターネット回線を利用した教育環境の充実を図る。

○ 内容

パソコン使用料 23,846,400円

○ 効果

中学校6校において、パソコン教材を活用した学習により、一層の教育の充実が図れた。

[担当：学務給食課] P. 383

2301 要保護・準要保護生徒就学奨励費 31,978,470円 (28,526,059円)

[国・県 1,057,000円 一財 30,921,470円]

* 特財内訳

[国補：要保護生徒就学奨励費補助金 171,870円×1/2≒86,000円]

[国補：特別支援教育就学奨励費補助金 1,131,322円×1/2以内≒513,000円]

[県補：県被災生徒就学支援等事業補助金 458,530円×10/10≒458,000円]

○ 目的

学校教育法に基づき、経済的理由により就学困難な中学校生徒の保護者に対して、教育費の援助を行うことで、教育環境の向上に寄与する。

○ 内容

給食費、学用品費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、医療費を援助した。

・要保護、準要保護及び被災生徒就学奨励者数

区 分	要保護数	準要保護数	被災生徒数	合 計
H26	13人	279人	4人	296人
H25	10人	258人	3人	271人

・特別支援教育就学奨励者数

区 分	在籍者数	該当者数
H26	46人	23人
H25	39人	22人

○ 効果

対象の保護者に対し経済的援助を行うことにより、教育環境の向上に寄与することができた。

[担当：指導課] P. 383

2901 中学校特別活動助成に要する経費 12,514,034円 (11,827,339円)

[一財 12,514,034円]

○ 目的

音楽発表・体育大会（県南大会・県大会・関東大会・全国大会）等を通して生徒の活動意欲を高める。

○ 内容

音楽コンクール参加負担金	589,000円
体育大会等派遣補助金	5,327,776円
その他（自動車借上料、賞状印刷代）	6,586,158円
運動部活動外部指導者賠償保険料	@1,850×6人=11,100円

○ 効果

市音楽会、音楽コンクール、体育大会等への参加により、生徒の音楽やスポーツへの関心・意欲が高まり、活動意欲の向上が図られた。

3 中学校費 3 学校建設費

[担当：教育総務課] P. 383

2001 中学校施設整備に要する経費 9,306,607円 (26,679,245円)

[一財 9,306,607円]

○ 目的

各中学校の施設を整備し、教育環境の充実を図る。

○ 内容

施設管理営繕工事	7,996,320円
----------	------------

○ 効果

各中学校施設の整備を行い、安全かつ快適な教育環境を提供することができた。

[担当：教育総務課] P. 385

21 中学校建設事業に要する経費 26,665,200円 (87,034,500円)

〈19,116,000円〉※〈〉は、うち25年度繰越分

[国・県 8,874,000円 〈8,874,000円〉 地方債 17,200,000円 〈10,100,000円〉

その他 449,000円 一財 142,200円]

* 特財内訳

[国補：学校施設環境改善交付金 〈8,874,000円〉]

[市債：合併特例債 7,549,200円×95%≒7,100,000円]

[市債：全国防災事業債 〈(18,999,054円-8,874,000円)×100%≒10,100,000円〉]

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 449,000円]

○ 目的

取手第一中学校武道場耐震補強工事を行い、学校施設の充実と安全性の確保を図る。
また、藤代中学校体育館耐震補強工事实施設計業務を行い耐震性能の向上を図る。

○ 内容

・取手第一中学校	19,116,000 円		
		〈武道場耐震補強工事	18,252,000 円〉
		〈武道場耐震補強工事監理委託	864,000 円〉
・藤代中学校	7,549,200 円		
		体育館耐震補強工事实施設計	7,549,200 円

○ 効果

取手第一中学校武道場耐震補強工事により耐震性能の向上が図られた。また、藤代中学校体育館耐震補強工事实施設計業務委託を行い、平成27年度工事实施に向けての準備が進められた。

3 中学校費 4 学校給食費

[担当：学務給食課] P. 385

2001 給食運営に要する経費 147,287,504 円(148,252,567 円)

[国・県 155,000 円 その他 91,356,382 円 一財 55,776,122 円]

* 特財内訳

[県補：米飯給食推進事業補助金 155,000 円]

[諸収入：中学校給食代（自校分） 91,343,465 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 12,917 円]

○ 目的

安全でおいしく、栄養バランスのとれた学校給食の提供。

○ 内容

主な経費

項 目	内 容	金 額
小荷物専用昇降機保守点検委託料	小荷物専用昇降機保守点検（6校）	700,920 円
換気設備清掃委託料	給食室用換気設備の清掃（4校）	529,632 円
給食排水槽清掃委託料	給食室用排水槽の清掃（4校）	576,720 円
給食室病虫害防除委託料	給食室等の病虫害の防除（6校）	666,360 円
学校給食調理業務民間委託料	調理業務を民間の業者へ委託した。 （4校：取手一中、取手二中、永山中、戸頭中）	42,758,280 円

○ 効果

安全で栄養バランスに配慮した給食の提供ができた。

[担当：学務給食課] P. 387

2101 給食施設整備に要する経費 1,533,229 円(3,287,391 円)

[一財 1,533,229 円]

- 目的
給食施設、設備の整備や修繕を行うことで、給食室内の衛生管理の充実を図る。
- 内容
施設修理や厨房機器等の修繕を行った。
- 効果
給食室内の衛生管理の充実を図ることができた。

4 幼稚園費 1 幼稚園管理費

[担当：学務給食課] P. 389

2001 幼稚園管理に要する経費 10,195,619 円 (10,221,386 円)

[その他 2,906,265 円 一財 7,289,354 円]

* 特財内訳

[使用料：市立幼稚園入園料 96,000 円]

[使用料：市立幼稚園保育料 2,766,500 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 43,765 円]

- 目的
市立幼稚園を運営することにより、幼児教育の振興を図る。
 - 内容
市立幼稚園の入園、施設管理等の運営全般に要する経費である。
保育料（月）5,500 円 入園料 4,000 円
- | 年 度 | 4 歳児 | 5 歳児 | 合 計 |
|-----|------|------|------|
| H26 | 19 人 | 23 人 | 42 人 |
| H25 | 22 人 | 30 人 | 52 人 |
- 効果
市立幼稚園の適切な管理と運営により、質の高い幼児教育を提供することができた。

[担当：学務給食課] P. 391

2101 幼稚園保健衛生に要する経費 633,161 円 (647,743 円)

[その他 5,805 円 一財 627,356 円]

* 特財内訳

[負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金 @135×43 人=5,805 円]

- 目的
学校保健法に基づき、園児の定期健康診断を実施することにより、健康保持を図る。
 - 内容
 - ・ 幼稚園嘱託医(1名)、歯科医(1名)、薬剤師(1名)の報酬
 - ・ 園児健康診断委託 委託先：(社)取手市医師会
- | 区分 | 腎臓検診 | 蛭虫検査 |
|-----|------|------|
| H26 | 42 人 | 42 人 |
| H25 | 54 人 | 52 人 |
- ※腎臓検診の人数は二次検査者を含む。
- 効果
定期検診を実施することにより、園児に対する健康管理や指導が徹底され健康保持

が図れた。

4 幼稚園費 2 幼稚園振興費

[担当：学務給食課] P.391

2001 幼稚園就園奨励費補助関係経費 148,421,000 円 (113,893,200 円)

[国・県 36,851,000 円 一財 111,570,000 円]

* 特財内訳

[国補：幼稚園就園奨励費補助金 補助対象経費

148,421,000 円×1/3 以内≒36,640,000 円]

[県補：県被災児童就学支援等事業補助金 補助対象経費

211,000 円×10/10≒211,000 円]

○ 目的

取手市幼稚園就園奨励費補助金交付要綱に基づき、園児の保護者に対し補助金を交付することにより、幼児の就園を奨励し幼児教育の振興を図る。

○ 内容

区 分	満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
生活保護世帯	0人	0人	0人	0人	0人
市民税非課税世帯	3人	22人	25人	36人	86人
市民税所得割非課税世帯	0人	4人	6人	6人	16人
所得割課税 77,100 円以下	5人	40人	64人	58人	167人
所得割課税 211,200 円以下	32人	220人	272人	264人	788人
上記区分以外の世帯	6人	38人	35人	33人	112人
合 計	46人	324人	402人	397人	1,169人

○ 効果

園児の保護者に対し補助金を交付することにより、幼児の就園奨励及び幼児教育の振興に寄与することができた。

[担当：学務給食課] P.391

2002 幼稚園児保育料補助関係経費 38,576,244 円 (39,213,270 円)

[一財 38,576,244 円]

○ 目的

幼児教育の振興を図るため、保護者に対して保育料の一部を補助し、幼児教育に係る経済的負担を軽減する。

○ 内容

対象者：取手市在住で私立幼稚園に在園する満3・3・4・5歳児の保護者

区 分	満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
月額2,500円	51人	380人	449人	454人	1,334人

補助額 38,507,500 円

○ 効果

保護者の保育料に対する経済的負担を軽減し、幼児教育の振興に寄与することができた。

[担当：学務給食課] P. 393

2003 幼稚園施設運営費補助関係経費 2,970,000 円 (2,970,000 円)

[一財 2,970,000 円]

○ 目的

幼児教育環境の充実と、設置者及び保護者の経済的負担の軽減を図る。

○ 内容

幼稚園の施設を整備するにあたり、私立幼稚園の設置者に対して費用の一部を補助した。

・1園につき 270,000 円×11園

○ 効果

幼児教育の施設及び設備の充実が図られ、また、私立幼稚園及び保護者の経済的負担軽減に寄与することができた。

[担当：学務給食課] P. 393

2004 幼稚園特別支援教育費補助関係経費 1,320,000 円 (1,650,000 円)

[一財 1,320,000 円]

○ 目的

私立幼稚園における特別支援教育の振興を図る。

○ 内容

障害のある園児が在園している私立幼稚園の設置者に対して、補助金を交付した。

・対象園児 1人につき 年額 110,000 円 ・対象園児 12人

○ 効果

私立幼稚園の設置者に対し補助金を交付することにより、特別支援教育の振興に寄与することができた。

[担当：学務給食課] P. 393

2006 幼稚園預かり保育助成事業関係経費 691,954 円 (670,378 円)

[一財 691,954 円]

○ 目的

私立幼稚園における幼児教育の振興を奨励し、その充実及び向上を図る。

○ 内容

夏季休業日に預かり保育を実施した私立幼稚園の設置者に対して、補助金を交付した。

実施園 9園 @774 円×1792.3h×1/2≒691,954 円

○ 効果

私立幼稚園の設置者に補助金を交付することにより、幼児教育の振興に寄与することができた。

[担当：学務給食課] P. 393

2007 幼稚園共済掛金補助関係経費 155,385 円 (147,285 円)

[一財 155,385 円]

○ 目的

私立幼稚園の災害共済掛金を補助し、幼児の福祉増進を図る。

○ 内容

日本スポーツ振興センター災害共済掛金を納付している私立幼稚園に対して、掛金の1/2の額を補助する。

私立幼稚園 @135円×1,151人=155,385円

○ 効果

私立幼稚園に補助することにより、幼児の福祉増進と幼児教育の振興に寄与することができた。

5 社会教育費 1 社会教育総務費

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 397

2001 成人式に要する経費 2,110,000円 (2,070,000円)

[一財 2,110,000円]

○ 目的

成人に達した若者の新たなる門出と今後の活躍を願い、式典を開催することで祝福する。

○ 内容

平成26年度新成人の該当者の中から市内各公立中学校の推薦を受け、実行委員会を組織し、成人式の企画・運営を委託事業として実施した。

年 度	性別	対象者(人)	参加者(人)	出席率(%)
H26 (H27. 1. 11 実施)	男	514	356	69.26
	女	468	330	70.51
	計	982	686	69.86
H25 (H26. 1. 12 実施)	男	573	409	71.38
	女	466	319	68.45
	計	1,039	728	70.07

○ 効果

成人式実行委員会に式典の進行やアトラクション等の企画・運営を委託することで、熱心に意見交換を行い、工夫を凝らした式典が実施できた。さらに記念冊子の編集作業を担当してもらうことで良い記念となる冊子の作成ができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 397

2201 生涯学習推進に要する経費 3,305,104円 (2,772,754円)

[その他 613,000円 一財 2,692,104円]

* 特財内訳

[諸収入：市民大学講座受講料 613,000円]

○ 目的

生涯学習に係る活動の場を提供することにより、市民の生涯学習への意欲を高めるとともに、各分野にわたる学習活動への参加を促進し、生涯学習の一層の振興を図ることを目的とする。

○ 内容

(1)生涯学習フェスティバル

生涯学習活動を実践している団体やサークルによる体験教室や活動発表などを通じて、幅広い世代間の交流と学びの場を提供するため、藤代スポーツセンターを会場にネットワークフェア 2014 と同時開催で実施した。

実施コーナー	実施内容	参加人数
ものづくり教室	身近なものを加工してものづくりに挑戦 牛乳パックのキャンディボックスとブーメランづくり	約 200 人
昔あそびコーナー	昔の遊び(お手玉・折り紙・ベーゴマ・あやとりなど) 体験	約 200 人
自然を大切に 野鳥を観察する会	身近で見られる鳥の紹介、ミニ探鳥会の開催	約 200 人
グラウンドゴルフ体験	グラウンドゴルフ体験	約 200 人
歌声喫茶	ギターの演奏に合わせて童謡、懐かしのメロディなど来場者と共に歌う	約 200 人

(2)出前講座

市民が「知りたい・聞きたい・学びたい」という内容を取りで学遊プラザリーダーバンク及び市職員が講師となって地域へ出向き講座を実施した。

派遣分野	H26		H25	
	件数	延べ受講者数	件数	延べ受講者数
リーダーバンク編・登録指導者	15	676 人	10	200 人
行政編・職員等派遣	47	1,666 人	72	2,296 人

(3)市民大学講座

市民がだれでも参加できる教養・専門講座「市民大学」を開講し、環境から国際問題、歴史、文学まで専門的な知識を持った講師を迎えて、中長期的な講座を開講した。

講座名	開催日	受講者
源氏物語Ⅳ	7月14日～9月8日	45人
大気環境を考える	4月14日～5月19日	40人
日本語の話	5月15日～7月3日	80人
変動する世界を読み解こう	9月19日～10月24日	68人
郷土の文化財と文化財が歩んだ歴史	11月26日～1月28日	95人

通常の市民大学に加え、東京大学（東京大学 EMP）から講師を招き、高齢化社会や地球環境、コミュニティづくりなどに関する先端的な特別講座「明るい未来を拓く先端知」を開講した。

講座名	開催日	受講者
宇宙を眺める眼	8月21日	176人
地震の予測はなぜ難しいのか？	10月16日	162人
人間の言語とは	11月19日	129人
社会システム・デザインからみた日本の医療システム	1月15日	126人
ケアラー学	2月13日	124人

平成 26 年度は、家庭教育学級全体研修会との共催で服部幸應氏を講師に迎え、「食と健康」をテーマとした特別講演会を開催した。

(4) 農業ふれあい体験事業

委託料 198,000 円（取手市子ども地域活動促進事業実行委員会へ委託）

親子米づくり体験講座

市内全小学校の希望者を対象に、親子で田植え、稲刈りの体験学習を実施した。

事業名	実施日	場所	参加者
親子米づくり体験講座	5/10(田植え)	農業 ふれあい 公園	親子 258 人 (うち台東区民 24 人)
	7/5(自然観察会)		
	9/13(稲刈り)		

(5) 家庭教育学級

市立幼・小中学校の親を対象に、家庭での教育力の向上及び親同士のコミュニケーションを図る場として家庭教育学級を設置し、社会教育指導員の指導により各学級単位の活動及び全体学習会を実施した。 26 学級 延べ参加人数 3,599 人

○ 効果

生涯学習フェスティバルでは、活動を実践している団体の体験教室に於いて幅広い世代に対して、交流と学びの場を提供することができた。また、親子米づくり体験講座では、親子での自然体験の活動機会を提供し、学校外活動の充実を図ることができた。

出前講座では、行政に対する理解と市民の生涯学習意欲の向上に加え、市内の各種能力・知識等を持った人材の活用を推進できた。

家庭教育学級では、「子育てと仲間づくり」をテーマに、親の学びの場として、子育てに関する情報提供や読み聞かせ、食育、子育て講話、健康づくり、研修視察等様々な学習会を開催し、家庭での教育力の向上を図った。

[担当：文化芸術課] P.397

2801 市民芸術活動の推進に要する経費 3,695,068 円 (3,709,591 円)

[その他 2,212,000 円 一財 1,483,068 円]

* 特財内訳

[諸収入：オータムジャンボ宝くじ収益金市町村交付金 2,212,000 円]

○ 目的

市民の文化活動及び芸術活動を援助するとともに、文化事業を推進し、市民文化の向上と発展に寄与する。

○ 内容

(1) 市主催事業の開催

事業名	開催日	内容	来場者数
第 43 回 取手市文化祭 (取手地区)	11/1, 2, 3 (3 日間)	取手地区の文化祭を取手市文化連盟に委託。 伎芸発表と作品展を開催した。 会場：市民会館・福祉会館 委託料：1,000,000 円	7,911 人

平成 26 年度 取手市藤代 文化祭 (藤代地区)	10/12～11/24 (うち 10 日間)	藤代地区の文化祭を取手市藤代文化協会に委託。作品展、体験型催事及び部門発表を開催した。 会場：藤代公民館 委託料：500,000 円	1,948 人
2014 取手美術 作家展	6/7～6/18 (12 日間)	身近な郷土作家による作品展を取手美術作家展に委託して開催した。37 名 56 点出品。オープニングセレモニーではギャラリーコンサート等、また、一般向けギャラリーツアー、市内小中学生向けギャラリーツアー (4 日間) 実施。(参加校 12 校、642 名) 会場：とりでアートギャラリー「きらり」 委託料：712,000 円	1,783 人
第 45 回 取手市 美術展	10/24～12/1 (うち 33 日間)	第 1 部 洋画、彫刻、デザイン 78 点 第 2 部 日本画、写真、書、工芸 87 点 第 3 部 小中学生、特別支援学級 1,127 点 会場：とりでアートギャラリー「きらり」 報償費・需用費：360,006 円	4,481 人

(2) 市内の文化団体への補助金交付

団体名	補助金額	目的
取手市文化連盟	288,000 円	団体の運営補助
取手市藤代文化協会	210,000 円	団体の運営補助
取手少年少女合唱団	80,000 円	団体の運営補助
国際音楽の日コンサート	60,000 円	一般公募補助事業採択
取手蛍輪	200,000 円	一般公募補助事業採択

○ 効果

各文化団体への補助金は市民が行う文化活動の活性化に寄与することができた。また各団体が行う事業は内容を工夫することで来場者が増加した。

[担当：文化芸術課] P. 399

2901 市民会館・福祉会館管理運営に要する経費 96,479,181 円 (82,140,263 円)

[その他 6,600,000 円 一財 89,879,181 円]

* 特財内訳

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 6,600,000 円]

○ 目的

取手市の産業・経済・文化・教養の向上と市民の福祉増進及び住民生活の向上を図る。

○ 内容

(1) 需用費（修繕料）：2,405,700 円

修繕名	内容	工期	金額
市民会館給水管修繕	給水設備改修	4/4～4/7	206,280 円
福社会館外廊下壁修繕	壁開口部改修	5/31～6/30	216,000 円
市民会館トイレ照明修繕	照明機器改修	7/16～8/23	313,200 円
福社会館デッキ水中ポンプ修繕	排水設備改修	10/22～11/21	561,600 円
福社会館雨樋修繕	排水設備改修	10/22～12/22	412,560 円
福社会館ガス空調設備改修	空調設備改修	1/15～1/27	568,620 円
市民会館ドア修繕	ドア改修	3/27～3/28	127,440 円

(2) 委託料

・平成 18 年度から市民会館・福社会館の管理運営に指定管理者制度を導入している。

指定管理者：（公財）取手市文化事業団

指定管理委託料：85,920,000 円

年度	施設名	使用件数	入場者数	稼働率 (使用件数／使用可能日数)
H26	市民会館	170 件	63,681 人	59.0%
	福社会館	7,690 件	251,217 人	92.5%
H25	市民会館	137 件	42,619 人	49.2%
	福社会館	3,485 件	79,453 人	100%

・市民会館、福社会館の駐車場を示す看板を更新した。

委託名	内容	期間	金額
市民会館看板更新委託	駐車場案内看板（2 枚）	1/28～3/20	270,000 円

(3) 使用料及び賃借料

リース名	内容	金額
電話交換設備賃貸借	電話交換設備リース	138,600 円

(4) 工事請負費

工事名	内容	工期	金額
市民会館ステージ上部屋上防水改修工事	屋上防水改修	11/20～2/27	5,832,000 円

○ 効果

施設の維持管理を適切に行うことによって、文化活動の拠点を市民に提供し文化芸術の振興に寄与した。

[担当：文化芸術課] P. 399

3001 東京芸術大学との交流に要する経費 4,123,342 円 (3,867,586 円)

[その他 1,000,000 円 一財 3,123,342 円]

* 特財内訳

[諸収入：オータムジャンボ宝くじ収益金市町村交付金 1,000,000 円]

○ 目的

市内に東京芸術大学のキャンパスがあるという環境を活かし、市民と東京芸術大学との交流を深め、芸術的感性や知識を培い、文化・芸術の振興を推進する。

○ 内容

(1) 東京芸術大学卒業・修了作品展における取手市長賞

市長賞賞賜金：1,000,000円（500,000円×2人）

第63回東京芸術大学卒業・修了作品展において優秀作品2点(彫刻・工芸)に市長賞を授与した。受賞作品は藤代庁舎前ロータリーと福祉交流センターロビーに展示した。

種類	作品名	作者
彫刻	aobane warai kawasemi (アオハネ ワライ カセミ)	國川 裕美
工芸 (漆芸)	こえて	久保万理子

(2) 市内小中学校と東京芸術大学との文化交流

指導者謝礼：2,676,000円（東京芸術大学美術学部及び音楽学部学生等）

東京芸術大学の学生等が、交流を希望した市立小中学校で美術又は音楽の指導を行った。

- ・美術：小学校の授業で児童に絵画技法等を指導した。（交流校17校）
- ・音楽：中学校の吹奏楽部活動で生徒に演奏技法を指導した。（交流校6校）

(3) 東京芸術大学音楽学部学生によるふれあいコンサート

出演者謝礼：176,000円

開催日	会場	内容	出演者数	入場者数
7/5 (土)	藤代公民館	ピアノ、声楽、ヴァイオリン	5人	200人
12/20 (土)	福祉交流センター	金管五重奏	5人	220人

○ 効果

東京芸術大学との文化交流は、近隣市町村にはない特色ある貴重な事業である。身近で質の高い芸術に触れられるため、市民、児童生徒及び学校関係者に大変好評であり、文化・芸術の振興及び技術の向上を図ることができた。

[担当：文化芸術課] P.401

3301 アートのあるまちづくりの推進に要する経費 30,018,976円 (26,998,516円)

[その他 13,535,976円 一財 16,483,000円]

* 特財内訳

[諸収入：井野アーティストヴィレッジ利用料 4,874,976円]

[諸収入：オータムジャンボ宝くじ収益金市町村交付金 5,461,000円]

[諸収入：(公財) 自治総合センター地域の芸術環境づくり助成金 2,600,000円]

[諸収入：(一財) 地域創造の地域の文化・芸術活動助成金 600,000円]

○ 目的

新たな視点に立った文化事業を実施し、取手市から全国へ、文化の発信を行う。東京芸術大学のキャンパスが市内にあるという環境を活かして、東京芸術大学の知識、技術、手法などを活用した他市町村にはない、文化・芸術によるまちづくりの推進を図る。

(1) 取手音楽の日「取手 JAZZ・DAYZ」

○ 内容

委託料：4,000,000 円（公益財団法人取手市文化事業団）

取手市民会館、福祉会館で東京芸術大学、アマチュアバンド、プロバンドの演奏を行った。

○ 効果

取手市内だけでなく市外近郊からたくさんの方が来場し優れた演奏を鑑賞することができた。

(2) 壁画によるまちづくり

○ 内容

委託料：4,500,000 円（壁画によるまちづくり実行委員会）

芸術が生活の中に自然に溶け込んだアートのあるまちづくりを目指し、平成 17 年度から「壁画によるまちづくり実行委員会」を立ち上げ、東京芸術大学の協力を得ながら、「壁画」を中心としたプロジェクトを展開してきた。市民には大変好評であり、環境改善や防犯にも大きな役割を果たしてきた。

平成 25 年度に新たな「壁画によるまちづくり実行委員会」を組織し、国内外から作品を公募し、壁画作品 12 作目となる「日本の四季」を国道 6 号藤代バイパス新町高架下壁面に制作した。また、取手駅東西連絡通路内では壁面に設置したスクリーンにより映像作品の公開を行った。

○ 効果

「壁画」を制作することにより、落書きや不法ビラ等の犯罪をなくし、安全で快適な市民生活を実現し、芸術と市民生活が一体化した個性豊かな美しい街並みが形成された。

(3) 取手の芸術活動連携サポート

○ 内容

委託料：700,000 円（NPO 法人取手アートプロジェクトオフィス）

市で行われる芸術活動をまちの地域資源として捉え、芸術文化団体のアート活動を資金面、広報発信面で支援した。

①「とりで グラント！」アーティストの広報（ポスター・チラシ）活動支援事業（5 団体）及び活動支援（2 団体）

②「とりでアートの日。」と題したとりでアートギャラリーを会場としたワークショップ事業（6 団体・6 本）

○ 効果

この事業をとおして取手を舞台に活動する芸術文化団体がそれぞれの活動を連携して発信することで市民の芸術体験の機会が増え、取手がより芸術に親しめる街として効果をあげた。

(4) 取手アートプロジェクト

○ 内容

補助金：3,240,000 円（取手アートプロジェクト実行委員会）

取手アートプロジェクト（TAP）は、平成11年度より市民・東京芸術大学・取手市の三者が連携協力して、地域の特色を活かした芸術活動を行なっているプロジェクトである。

平成26年度テーマ	半農半芸・アートのある団地
開催期間	通年の土曜・日曜
内容	<p>・「半農半芸」は、「地と知の循環による民学連携型地域創成プロジェクト」というテーマで、高須地区を中心に絵具作りや燻製機の作成・勉強会プログラムを行い、のべ612人の参加</p> <p>・「アートのある団地」は、「郊外のクリエイティブ生活景のなかのアート」というテーマで、戸頭団地や井野団地を中心に住民参画型アート作品を制作し、東京藝大生や市内アーティストとの連携プログラムとして展覧会等を実施した。のべ7,742人の参加</p>

継続事業の主な活動概要

①こどもプログラム

学校へのアーティスト派遣事業(閉校する井野小学校の校歌を残す取り組み)

②環境整備プログラム

戸頭団地テナントエリアの外壁修繕に係るプランニングを継続実施。

○ 効果

取手アートプロジェクトは、従来のフェスティバル型から通年型のプロジェクトに移行して以来、今年も長期的な視野に立つ企画の枠組みとして「アートのある団地」と「半農半芸」の2つの軸でプロジェクトを展開。取手アートプロジェクトを支えるスタッフの自主的で個性的な企画運営は、評価される場所である。当事業はアートのまち、アーティストの集まるまちとして取手市に潤いをもたらしている。

(5) 地域の芸術環境づくり助成金

○ 内容

公益財団法人自治総合センター「平成26年度コミュニティ助成事業(地域の芸術環境づくり助成事業)」で採択され、助成を受けた事業。「郊外のクリエイティブ生活景のなかのアート」の実施。

(6) 地域・文化芸術研究事業研修プログラム

○ 内容

一般財団法人地域創造「平成26年度地域・文化芸術研究事業研修プログラム」で採択され、助成を受けた事業。「地域特化型アートマネージャー実践養成講座(TAP塾)」の実施。

(7) 井野アーティストヴィレッジ

○ 内容

東京芸術大学と市が連携し、長らく空き店舗となっていた井野団地ショッピングセンターにある一棟をUR都市再生機構より借り受け、東京芸術大学卒業生や若手芸術家のための「共同アトリエ」として一定期間賃貸提供する。

・UR都市再生機構から市が建物を借り、それを東京芸術大学が中心となって募集した若手芸術家にアトリエとして貸し出す

・東京芸術大学が7戸の施設整備費を負担

・7戸のうち1戸は東京芸術大学が管理のため利用し、市が家賃を負担

・1戸につき2名以上、利用期間2年

・地域との交流及びオープンスタジオへの参加が条件

・賃借人数

スタジオ名	101（管理運営）	102	103	104	105	106	107
賃借人数	2人	4人	4人	5人	4人	5人	5人

○ 効果

27名のアーティストが各アトリエにおいて創作活動を行った。7月にオープンスタジオを開催し、ワークショップ、アーティスト青空市を行った。空き店舗を利用し地域の活性化を図り、芸術によるまちづくりの推進に寄与することができた。

(8) ストリートアートステージリング

○ 内容

委託料：4,000,000円

工事請負費：2,363,040円

アートのあるまちづくりを基本理念として様々な空間を利用して街そのものを美術館化していく事業の一環として、平成23年度に制作しストリートアートステージに展示していた作品をリング化し、取手駅西口「サイクルステーションとりで」に設置した。

○ 効果

人々が集う場所に作品を設置することで屋外のアートギャラリーとして芸術を身近に感じ、芸術文化の育成に貢献することができた。

(9) 水と緑と祭りの広場イルミネーション

○ 内容

工事請負費：1,185,000円

光の芸術に触れ合う機会を提供し行き交う人の目を楽しませることを目的に、藤代庁舎前の公園「水と緑と祭りの広場」に迷路や滝が流れるイルミネーションを設置した。

○ 効果

人々が集う場所にイルミネーションを設置することは光の芸術に触れ合う機会を提供し、芸術文化の育成に貢献することができた。

[担当：文化芸術課] P.403

3401 市民会館改修事業に要する経費 8,748,000円（19,215,000円）

[その他 8,400,000円 一財 348,000円]

* 特財内訳

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 8,400,000円]

○ 目的

市民会館舞台の照明機器に電源を供給するボーダーケーブル（電気配線）は、使用時に屈曲伸縮を繰り返しており定期的な更新が必要なため改修を実施し、施設の適切な運営管理を図る。

○ 内容

工事名	内容	工期	金額
市民会館ボーダーケーブル改修工事	舞台電源供給設備改修	10/17～2/27	8,748,000円

○ 効果

施設の維持管理を適切に行うことによって、文化活動の拠点を市民に提供し文化芸

術の振興に寄与した。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 403

3501 IT 基礎技術講習会に要する経費 2,008,332 円 (1,768,095 円)

[一財 2,008,332 円]

○ 目的

IT 講習会の内容充実と市民の情報収集・発信能力の向上に努める。

○ 内容

急速に進展する情報化社会に対応するため、パソコンボランティアを中心に公民館を利用して成人を対象に IT 講習会を実施した。

○ 効果

パソコンの基本操作やワード、エクセルの入門講座に加えて、デジカメ入門や動画作成等の幅広いニーズに対応した講習会を実施し、多くの受講生の技術向上に寄与した。

[担当：文化芸術課] P. 403

3701 アートギャラリーの管理運営に要する経費 7,110,430 円 (7,012,555 円)

[その他 358,100 円 一財 6,752,330 円]

* 特財内訳

[使用料：アートギャラリー使用料 269,400 円]

[使用料：市民ギャラリー使用料 88,700 円]

○ 目的

郷土作家、市民及び行政が一体となり創り上げたギャラリーにおいて、芸術作品の発表の場として、さらには文化・芸術交流の場として幅広い活動を展開する。

○ 内容

(1) 市主催事業の開催

事業名	開催日	内容	入場者数
故郷を愛した作家たち	7/13～ 7/25	茨城県南出身や茨城県にゆかりの深い7人の作家による日本画にみる環境と自然をテーマにした絵画展を開催した。	1,137 人
にこにこ元気なとりでっ子!	8/1～ 8/31	市内の公立、私立保育所(園)15カ所に通う4歳児、5歳児の絵画約600点と立体工作物を合同で展示。合わせて4カ所の子育て支援センターの取り組みを紹介した。(第5回)	1,278 人
とりでアートの日2014	8/1～ 8/31	市内の芸術家団体が幼児から大人まで楽しめるワークショップを6本開催した。	139 人
小中学生児童生徒作品展	1/23～2/9	市内小中学生による絵画、書写、科学研究・発明工夫、統計グラフ(県展入選作品を含む)の優秀作品展。	1,712 人
国際映像コンペティション取手2014受賞者映像展覧会	2/15～ 2/22	国際映像コンペティション取手2014で受賞した作品の上映会を実施した。	89 人

(2) アートギャラリーきらり貸出実績

期間	展示名
4/9～4/15	16人+α写真展
4/17～4/22	東日本銀行OBと家族の作品展
4/24～4/29	絵を描く仲間達展
5/14～5/20	とりで陶芸19人展
5/24～5/31	アジト3（東京藝術大学生の作品展）
9/3～9/9	戸高武敏近作展
9/22～9/25	戦時ポスター展
9/27～9/28	取手市小中学校科学研究作品展・発明工夫展
10/1～10/6	林 美智子展
10/9～10/15	全日本写真連盟取手支部写真展
10/16～10/22	いばら会パステル画展
12/6～12/11	MOA美術館児童作品展
3/1～3/8	東京藝大留学生展
3/11～3/17	取手洋画クラブ展
3/18～3/23	萌黄の会写真展
3/26～3/31	茨城県南書展

(3) 市民ギャラリーの管理

市民の発表の場として、取手駅東西連絡通路及び藤代駅橋上自由通路にある市民ギャラリーの貸し出しを行なった。

利用件数

ギャラリー名	平成26年度	平成25年度
取手駅市民ギャラリー	52件	51件
藤代駅市民ギャラリー	26件	23件

○ 効果

郷土作家や市民による作品等の発表及び鑑賞並びに文化交流の場を市民に提供し、文化・芸術の振興に寄与した。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 403

3801 放課後児童対策事業に要する経費 329,257,746円（122,633,489円）

[国・県 33,912,000円 地方債 196,100,000円 その他 46,323,383円

一財 52,922,363円]

* 特財内訳

[国補：社会資本整備総合交付金（住宅・建築物安全ストック形成分） 215,000円]

[県補：放課後児童対策事業補助金

学校・家庭・地域連携協力推進事業補助金

@14,830,914円×2/3≒9,886,000円

放課後児童健全育成事業補助金 @35,717,000円×2/3≒23,811,000円]

[市債：合併特例債（206,700,660円－215,000円）×95%≒196,100,000円]

[負担金：放課後児童対策事業保護者負担金 35,392,500円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 10,385,000円]

[諸収入：雇用保険料本人負担金 545,883円]

○ 目的

市内の小学校に通う全児童を対象として、学校施設等を利用して、遊びや体験学習などで自主的に過ごせる場所を設け、子どもの健全育成を図る。

○ 内容

子どもの居場所づくり事業と児童クラブ事業を一体化し、平成 20 年度から「放課後子どもクラブ」として市内全小学校で開設している。

放課後や夏休み等の長期休業中に、小学校 1 年生から小学校 6 年生を対象に、安全で安心な子どもの活動拠点を小学校に設け、様々な体験活動を行うなど、総合的な放課後児童対策事業として実施した。

学習アドバイザーの活用や各種ボランティアとの交流など内容の充実に努めた。

放課後子どもクラブ登録児童数(通常利用登録者)

平成 27 年 3 月 1 日現在(単位：人)

小学校名	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	合 計
取 手 小	50	28	32	16	13	8	147
白 山 小	42	36	33	34	15	4	164
小文間小	4	6	5	3	2	1	21
寺 原 小	42	35	30	28	14	2	151
永 山 小	37	44	29	16	14	7	147
井 野 小	8	13	8	17	7	2	55
白山西小	5	10	14	8	7	1	45
戸頭西小	22	23	16	14	9	1	85
吉 田 小	30	27	30	8	12	3	110
戸頭東小	24	37	24	21	13	4	123
稲 小	22	29	21	15	5	4	96
高 井 小	11	19	7	9	3	1	50
山 王 小	7	11	14	3	5	1	41
六 郷 小	15	12	7	11	12	9	66
藤 代 小	31	35	20	18	6	8	118
宮和田小	26	43	32	5	9	1	116
久 賀 小	24	14	15	12	9	4	78
桜が丘小	32	19	17	16	5	1	90
合 計	432	441	354	254	160	62	1,703

戸頭東小学校(現戸頭小学校)、吉田小学校(現取手東小学校)、寺原小学校の放課後子どもクラブ室の新築工事を実施した。

戸頭東小学校	監理業務委託料	627,130 円
	新築工事	61,074,000 円
吉田小学校	監理業務委託料	627,130 円
	新築工事	60,480,000 円
寺原小学校	監理業務委託料	646,000 円
	新築工事	63,266,400 円
	旧クラブ室解体工事	19,980,000 円

○ 効果

児童の健全育成のために貢献することができた。また、全学年・全児童を対象としたことで異学年間の交流も図ることができた。

3 クラブ室の新築工事により、事業の拠点となるクラブ室の環境整備を図ることができた。

5 社会教育費 2 公民館費

[担当：公民館] P. 407

0501 公民館事務に要する経費 105,584,196 円 (73,537,630 円)

[国・県 16,360,000 円 その他 32,667,865 円 一財 56,556,331 円]

* 特財内訳

[国補：地域活性化・効果実感臨時交付金 16,360,000 円]

[使用料：公民館使用料 5,956,900 円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 26,040,000 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 200,000 円]

[諸収入：コピー使用料 411,941 円]

[諸収入：電話通話料 1,220 円]

[諸収入：電気使用状況モニター 5,400 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 48,478 円]

[諸収入：工事に伴う公民館光熱水費使用料 3,926 円]

○ 目的

公民館施設の適切な管理運営と施設整備を行うことにより、市民の利用環境の充実を図る。

○ 内容

主な修繕・工事	・ 白山公民館外壁・屋根改修工事	23,371,740 円
	・ 寺原公民館空調改修工事	5,637,600 円
	・ 高須公民館雨漏り改修工事	2,721,600 円
	・ 井野公民館和室空調機改修工事	1,733,400 円
	・ 相馬南公民館屋根改修工事	9,028,800 円
	・ 公民館施設修繕料	11,823,407 円
	・ 藤代公民館非常用発電設備改修工事	3,506,760 円

○ 効果

経年劣化が著しい白山公民館の外壁と屋根の改修、また、老朽化による雨漏りが目立つ相馬南公民館の屋根の改修、並びに高須公民館の雨漏り改修工事を行い、施設管理の充実を図った。

老朽化による機能損失が著しい寺原公民館と井野公民館の空調機の改修を行い、利用者の利用環境の改善を図った。また、各公民館の付帯設備等の老朽化に伴う故障や破損等で、使用に支障がある付帯設備等の修繕を行い、利用者の利便性を図った。

[担当：公民館] P. 411

2101 公民館活動に要する経費 1,651,954 円 (1,579,256 円)

[一財 1,651,954 円]

○ 目的

公民館は、地域住民にとって最も身近な学習拠点として、教養の向上、生活文化の振興、社会福祉の増進等に寄与し、自主的な学習活動及び交流の場として重要な役割を担う。そのため、地域の特色を生かした事業を展開し、地域の振興を図る。

○ 内容

(1) 公民館各種事業

市内 14 公民館において、多様化する住民の学習ニーズ、高度化する学習内容に対応した活動の充実を図るため、それぞれの世代を対象にした講座、講演会及び子どもふれあいスクール事業などの公民館事業を展開した。

対象	事業名	期 間	回数	受講者数(人)	事業内容及び結果
青少年	おもしろ理科実験教室	12月	1	41	理科の実験の楽しさを学習した。戸頭公民館にて、戸頭子どもふれあいひろばと共催。
	ヒップホップ入門	6月	1	46	ヒップホップを体験。戸頭子どもふれあいひろばと共催
	戸頭子どもまつり	7月	1	380	レクリエーションを通じて地域の子どもの交流を図る。
	新春子どもの集い	1月	1	140	餅つき大会、どんど焼きを行い、伝統行事や習慣を伝える。
	サマースクール	7月～8月 5館	6	94	小学生を対象にいろいろな工作教室や料理教室を実施した。
	夏休みセミナー	8月	1	20	はんかちの草木染め・葉脈標本のしおり作り。
	親子ふれあい事業 他	8月～1月	4	300	親子を対象に世代間交流事業を開催。流しそうめん体験やしめ縄作り、凧作りなどを行った。
	クリスマス人形劇	12月	1	200	劇団どんぐりによるクリスマス公演を開催した。
	クリスマスケーキ作り教室	12月	1	28	クリスマスケーキ作りを楽しく学ぶ。戸頭公民館にて、戸頭子どもふれあい広場と共催。
	昔の遊び	2月	1	38	ベーゴマやあやとり、折り紙などとゲームなどを体験する。
婦人	婦人学級	年間	各学級 10～11	1学級 11人～38人 8学級(202人)	出会いを大切に視野を広げ、楽しく学習しながら心豊かな人間性を高めた。
高齢者	高齢者学級	年間	各学級 11～12	1学級 19人～101人 3学級(147人)	敬愛される高齢者を目指して、健康・趣味・奉仕活動等を積極的に行い、物の見方や考え方、生きがいを見い出した。

	藤代学園	年間	11	1学級 180人	学習、趣味活動を通じて、社会情勢への円滑な適応を図った。
	ローンボール大会	8月	1	25	高齢者の親睦と健康維持。
成人	ふるさと講座	9月～11月	6	170	郷土に関することの学習を通し、郷土愛と交流を深めた。
	グリーンカーテン張	5月	2	6	節電対策の一環として、庁舎に設置した。
	着付け教室	7月・12月	3	22	ゆかたや、正月の着物の着付けを学習した。
	お父さんのつどい お母さんのつどい	11月	1	36	高須地区のお父さん、お母さんの研修視察を行い、交流を図る。
	初心者のそば打ち 体験講座	11月	2	29	自分でそばを打つ楽しさと秋の味覚を楽しんだ。
	しめ飾り作り講座	12月 8館	9	212	伝統的な「しめ飾り」を手作り体験した。
	男の料理教室 (初級編)	年間	11	20	料理の基礎を学び、簡単な食事は自分で出来るように行った。
	クリスマスキャン ドル講座	12月	1	13	市内成人を対象に、クリスマスキャンドル作り講座を実施。
	やさしい手相入門	3月	1	22	やさしい手相の見方を学ぶ。
一般	さつき展示会	6月	1	77	地域住民によるさつきの展示で地域の親睦を深めた。
	菊花展示会	11月	1	42	地域住民による菊の展示で地域の親睦を深めた。
	ソフトボール大会	6月・10月	2	167	ソフトボールの振興と地域親善を目指し、互いに交流を深めた。
	ゲートボール大会	11月	1	40	健康増進と地域の親睦と交流を深めた。(戸頭・永山共催)
	ペタンク大会	10月	1	50	スポーツ(ペタンク)を通じて、各世代間の交流を図った。
	運動会	6月 9月～10月	4	1,350	小文間、六郷、山王で小学校と合同で、相馬は地域で開催。
	ファミリー ウォークラリー	11月	1	200	家族や仲間と一緒に地図を片手に歩くウォークラリーを開催。
	健康づくり講座	5月～2月	10	279	筑波大名誉教授による中高齢者の肥満予防と運動の講座。

	芸 能 ま つ り	10 月	1	88	利用団体による芸能発表。
	夏 ま つ り	8 月	4	1,750	夏の風物詩の盆踊り、模擬店等で、地域の親睦を深める。
	公 民 館 ま つ り	2 月～3 月	12	5,428	作品展示や催しもの等、公民館で活動する団体による発表と地域交流の場を提供した。

(2) 各公民館利用状況

公 民 館 名	年度	利用件数(件)	延べ利用者数(人)
中 央 公 民 館	H26	福祉会館との複合施設のため独自の算出はなし	
	H25		
小 文 間 公 民 館	H26	1,465	15,942
	H25	1,521	16,141
永 山 公 民 館	H26	2,951	42,642
	H25	2,590	37,954
寺 原 公 民 館	H26	2,338	39,251
	H25	2,407	38,600
井 野 公 民 館	H26	4,635	90,456
	H25	5,023	98,078
戸 頭 公 民 館	H26	4,223	68,896
	H25	4,477	76,621
白 山 公 民 館	H26	2,997	57,061
	H25	3,277	65,907
藤 代 公 民 館	H26	3,008	60,942
	H25	3,065	57,474
山 王 公 民 館	H26	866	9,739
	H25	737	7,669
六 郷 公 民 館	H26	991	15,588
	H25	995	16,085
相 馬 公 民 館	H26	1,163	15,083
	H25	1,106	14,746
相 馬 南 公 民 館	H26	1,592	20,788
	H25	1,670	22,319
高 須 公 民 館	H26	316	4,929
	H25	421	5,988
久 賀 公 民 館	H26	903	10,624
	H25	884	10,492
計	H26	27,448	451,941
	H25	28,173	468,092

○ 効果

地域の環境により、学級講座等の事業内容をそれぞれ特色のあるもので充実を図ったことで、大切な地域の拠点である公民館で、まちづくりや人づくりを推進させることができた。

5 社会教育費 3 図書館費

[担当：図書館] P. 411

2001 図書館管理運営に要する経費 31,081,559 円 (22,451,134 円)

[その他 6,270,000 円 一財 24,811,559 円]

* 特財内訳

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 6,000,000 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 270,000 円]

○ 目的

図書館の利用者に安全で快適な場・空間を提供し、生涯学習活動の拠点として、市民の教育・文化の発展に寄与する。

○ 内容

自由で公平な資料提供を中心とする奉仕活動を行うため、適切な図書館施設の維持管理を行う。

(単位：円)

事業名	一般財源	公共施設整備基金	合計
図書館施設修繕料	1,289,722	800,000	2,089,722
非常用放送設備更新工事(取手)	240	2,028,000	2,028,240
給水用揚水管改修工事(取手)	182,000	1,600,000	1,782,000
トイレ改修工事(取手)	1,376,400	1,572,000	2,948,400

(単位：円)

事業名	一般財源	ふるさと取手応援基金	合計
閲覧用椅子購入(取手)	21,384	270,000	291,384

[担当：図書館] P. 413

2101 図書館活動に要する経費 58,243,496 円 (46,112,604 円)

[その他 224,862 円 一財 58,018,634 円]

* 特財内訳

[諸収入：コピー使用料 157,790 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 67,072 円]

○ 目的

市民の多様化するニーズに対応すべく、読書環境の整備と奉仕活動の強化に努め、利用者へのより質の高いサービスと文化的で有意義な図書館資料の提供を図る。

○ 内容

(1) 主な事業

- ・子育て支援 ブックスタート事業(年間24回657冊)
乳幼児・児童向け読み聞かせ(のべ197回開催 参加者2,942人)
- ・学校との連携 学校図書館への支援(司書教諭との合同会議及び研修2回)

学校訪問お話し会(市内小学校 18 校 3・6 年生対象 1,253 人)

- ・図書館だより ライブラリープラス(6 回発行)、ほんバナ(4 回発行)
- ・図書館まつり 取手図書館(5/25 1,870 人)
ふじしろ図書館(4/27 1,893 人)

(2) 登録者数

(単位:人)

年齢別 登録者数	0～ 6 歳	7～ 12 歳	13～ 15 歳	16～ 18 歳	19～ 22 歳	23～ 29 歳	30～ 39 歳	40～ 49 歳	50～ 59 歳	60 歳 ～	合計
H26	712	2,703	1,882	2,098	2,359	3,575	6,143	6,500	4,052	12,167	42,191
H25	701	2,777	2,113	2,399	2,925	4,652	7,579	7,073	4,556	13,116	47,891
H24	714	2,792	2,175	2,294	2,795	4,493	7,376	6,421	4,403	12,180	45,643
H23	707	2,881	2,206	2,135	2,565	4,332	7,117	5,795	4,273	11,188	43,199
H22	715	3,062	2,298	2,279	2,826	4,677	7,673	5,975	4,565	11,279	45,349

(3) 利用状況

- ・入館者数

館名	入館者数(単位:人)				
	H26	H25	H24	H23	H22
取手図書館	172,237	171,750	179,498	170,614	182,309
ふじしろ図書館	192,403	195,856	202,396	198,107	190,921
合計	364,640	367,606	381,894	368,721	373,230

- ・館別貸出者数

館名	貸出者数(単位:人)				
	H26	H25	H24	H23	H22
取手図書館	83,777	83,358	85,525	84,016	89,244
ふじしろ図書館	87,990	87,637	89,939	89,870	87,543
戸頭公民館図書室	39,413	41,226	44,119	45,576	42,406
小文間公民館図書室	327	274	304	277	307
寺原公民館図書室	4,265	4,119	3,609	3,712	3,703
永山公民館図書室	686	566	741	761	744
ゆうあいプラザ図書室	3,002	3,202	3,217	3,165	2,848
井野公民館	1,940	1,779	1,778	1,786	1,663
取手駅前窓口	4,898	4,485	3,852	4,047	4,024
山王公民館	126	144	154	124	143
六郷公民館	652	652	608	559	573
相馬南公民館	553	443	479	392	550
久賀公民館	0	4	6	2	6
合計	227,629	227,889	234,331	234,287	233,754

・貸出冊数

館名	貸出冊数（単位：冊）				
	H26	H25	H24	H23	H22
取手図書館	258,776	260,781	273,067	267,856	287,956
ふじしろ図書館	262,406	264,307	277,829	279,526	265,928
戸頭公民館図書室	106,913	116,045	127,311	133,753	128,775
小文間公民館図書室	765	730	638	599	641
寺原公民館図書室	8,862	8,175	7,280	7,881	8,011
永山公民館図書室	1,338	1,156	1,655	1,698	2,067
ゆうあいプラザ図書室	7,271	7,884	7,942	8,011	7,375
井野公民館	3,757	3,431	3,396	3,248	3,281
取手駅前窓口	8,754	8,135	6,695	7,218	7,444
山王公民館	167	231	230	181	205
六郷公民館	1,089	1,174	1,104	978	1,109
相馬南公民館	905	706	778	654	945
久賀公民館	0	7	8	2	9
合計	661,003	672,762	707,933	711,605	713,746

・予約（リクエスト）月別利用状況

月別	予約（リクエスト）件数（件）				
	H26	H25	H24	H23	H22
4月	9,648	9,487	9,288	7,715	9,327
5月	9,086	9,080	8,885	9,572	9,403
6月	8,708	9,178	8,683	8,629	7,907
7月	9,462	9,781	9,357	9,897	10,034
8月	10,228	9,675	9,188	9,987	9,339
9月	9,253	9,629	9,691	9,617	9,539
10月	9,583	9,541	9,451	9,689	10,119
11月	9,105	8,917	8,834	9,191	8,888
12月	8,389	8,771	8,788	8,488	9,625
1月	9,163	9,341	9,034	9,161	9,552
2月	8,674	8,495	9,370	9,809	9,130
3月	9,186	8,575	9,692	9,730	6,207
合計	110,485	110,470	110,261	111,485	109,070

○ 効果

図書館主催、ボランティアとの共催により、市民の読書活動、または図書館そのものに対する関心を高めるような行事を行った。また、ブックスタート事業を、配布冊数を見直しながらも引き続き実施するなど、子どもの読書活動推進のための事業に力を入れた。

[担当：図書館] P. 415

2201 図書館資料購入に要する経費 32,844,784 円 (31,939,260 円)

[その他 110,588 円 一財 32,734,196 円]

* 特財内訳

[諸収入：図書弁償金 46,948 円]

[諸収入：広告掲載料 63,640 円]

○ 目的

市民の幅広い図書館資料に対するニーズに応える。

○ 内容

図書館の収集方針に基づき、資料を整備し、市民の読書活動を支援できるよう努めた。

・館別蔵書数

館名	図書 (単位:冊)				
	H26	H25	H24	H23	H22
取手図書館	131,555	132,611	131,109	127,402	136,748
ふじしろ図書館	125,903	129,117	126,883	121,112	114,403
戸頭公民館図書室	55,718	56,704	56,909	56,766	58,890
小文間公民館図書室	2,578	2,521	2,668	2,487	2,437
寺原公民館図書室	5,006	4,967	4,604	4,870	5,099
永山公民館図書室	5,002	5,434	5,291	4,898	4,856
ゆうあいプラザ図書室	8,559	12,223	11,918	11,629	11,533
合計	334,321	343,577	339,382	329,164	333,966

館名	雑誌 (単位:種類)				
	H26	H25	H24	H23	H22
取手図書館	93	101	93	99	97
ふじしろ図書館	96	112	96	101	104
戸頭公民館図書室	32	31	33	33	34
合計	2) 177	2) 183	2) 176	2) 185	2) 198

館名	AV (単位:件)				
	H26	H25	H24	H23	H22
取手図書館	270	199	149	36	
ふじしろ図書館	4,753	4,578	4,404	4,303	4,094
合計	5,023	4,777	4,553	4,339	4,094

1)蔵書冊数には寄贈本を含む。 2)全体の雑誌種類数(各館間で重複する雑誌は1つと数える)

○ 効果

各館の特徴を活かした資料収集・整備に努めたことで、利用者サービスが拡大した。

5 社会教育費 4 文化財保護費

[担当：教育総務課] P. 417

2001 文化財保護に要する経費 481,180 円 (524,171 円)

[その他 810 円 一財 480,370 円]

* 特財内訳

[諸収入：市史・郷土史郵送料本人負担分 810 円]

○ 目的

文化財は市民共有の財産であり、地域の歴史の歩みを後世に永く伝える貴重な資料でもあるので、文化財保護法や県・市条例によって文化財保護が義務付けられている。市内の国・県・市指定文化財の保護・活用につとめ、未指定の文化財についても調査を進める。

○ 内容

(1) 指定文化財補助金交付 (400,000 円)

指定文化財等補助金交付要綱に基づき、指定文化財の日常管理や修理・整備に対して補助金を交付した。

(単位：円)

指定	指定文化財の名称	日常管理補助金	防災設備保守点検補助金	その他
		定額	補助率 7/8 以内	【 】は補助率
国	龍禅寺 三仏堂	9,000	62,000	
県	本多作左衛門重次墳墓 (本願寺)	9,000		
	大日山古墳 (岡神社)	9,000		
	地藏ケヤキ (高源寺)	9,000		
	長禅寺 三世堂	9,000	31,000	
	東漸寺 山門・観音堂	9,000	37,000	
市	八坂神社 本殿・拝殿	9,000	51,000	
	白山神社 本殿	9,000	36,000	
	中妻貝塚 (福永寺)	9,000		【1/2 以内】 84,000 [維持管理(草刈)]
	阿弥陀如来坐像 (金仙寺)	9,000		
	絹本金地刺繍釈迦涅槃図 (信楽寺)	9,000		

(2) 文化財保護強調週間に伴う特別公開

11 月 1 日から 7 日の文化財保護強調週間に合わせ、県・市指定文化財「旧取手宿本陣」と県指定文化財「長禅寺三世堂」の特別公開を実施した。

・旧取手宿本陣（10月31日～11月9日）

公開日	内 容	参加人数	備 考
10/31～11/9	特別公開	417人	10/31～11/2 染野家伝来水戸藩主直筆掛け軸3点特別公開
11/1（土）	市民大学特別講座(会場本陣主屋)	83人	「四国遍路と取手市の新四国相馬霊場と高須大師」講師：近江礼子氏（市文化財保護審議委員）

・長禅寺三世堂（10月31日(金)～11月2日(日)）

公開日	内 容	参加人数	備 考
10/31～11/2	内部特別公開	364人	

○ 効果

文化財の保存・管理について、補助金を交付することで、管理者の負担を軽減するとともに維持・修理を計画的に実施することができた。また、市民の文化財に対する理解と意識の高揚に寄与した。

さらに、市指定有形文化財だった「東漸寺観音堂・山門」が、平成17年度から21年度にかけて市の補助事業として実施した大規模な保存修理によって、文化財の保存状態の向上と、詳細な調査資料が得られたことにより、平成27年1月22日付けで県指定有形文化財に指定された。

[担当：教育総務課] P.417

2101 旧取手宿本陣管理運営に要する経費 7,465,347円（13,700,344円）

[その他 240,000円 一財 7,225,347円]

* 特財内訳

[諸収入：本陣駐車場使用料 240,000円]

○ 目的

県・市指定文化財「旧取手宿本陣」の保存・管理を行い、一般公開することで文化財への愛着や関心を高める。

○ 内容

(1) 一般公開

年度	公開日	日数	見学者	平均	内 容
H26	週3日 (金・土・日)	153日	5,608人	36.7人	・修復工事のビデオを随時放送。 ・土間でパネル展を実施した。 ・小学校などの団体見学では、職員が説明を行った。
H25	週3日 (金・土・日)	110日	2,054人	18.7人	同上 ※12/2～3/31の4か月間は主屋屋根修復工事のため臨時休館

(2) 管理・運営経費

・一般公開に関する経費：1,594,788円

内 訳	支 出 額
消耗品費（パンフレット用紙等）	40,853円
公開日受付業務委託料	1,553,935円

・維持管理に関する経費：5,870,559円

内 訳	支 出 額
史跡指定地・駐車場賃借料	3,701,284円
日常管理委託料	492,480円
庭園維持管理委託料	788,400円
機械警備委託料	90,720円
消防用設備保守点検委託料	171,720円
火災保険料	46,977円
光熱水費・通信運搬費・下水道使用料	269,484円
修繕料（駐車場車止修理・主屋障子張替等）	104,294円
樹木伐採委託料（佐倉道側高木伐採）	205,200円

○ 効果

旧取手宿本陣の公開は、市民の歴史や文化財に対する関心を高めている。また、見学者の約6割が市外からの訪問者であり、市の観光資源として活用されている。26年度は、取手宿ひなまつりに会場として貸し出し、多くの見学者に対し文化財に触れる機会を作ることができた。

【担当：教育総務課】 P.419

2401 埋蔵文化財調査・整理に要する経費 1,066,974円（1,479,159円）

[その他 43,900円 一財 1,023,074円]

* 特財内訳

[諸収入：郷土史売却代 43,900円]

○ 目的

取手市埋蔵文化財取扱い要領に基づき土木工事や宅地開発等に伴う埋蔵文化財の確認調査や発掘調査に迅速に対応する。発掘調査によって貴重な埋蔵文化財を記録する。

○ 内容

市内遺跡確認・緊急調査の概要

確認調査（試掘）や個人住宅の発掘調査を、市が実施した。

遺跡名・事由・面積	期 間	内 容
取手宿跡 兼用住宅・1328.71 m ²	5/13～15	遺構・遺物なし
中妻貝塚 個人住宅・340.55 m ²	5/19～6/5	縄文時代 貝塚 縄文式土器など
大境遺跡 集合住宅・221.42 m ²	8/8	遺構・遺物なし
糠塚古墳群 個人住宅・191.22 m ²	9/5	遺構・遺物なし
佃遺跡 宅地造成・1,652 m ²	H27：1/7・8・13	遺構・遺物なし

台宿二本松遺跡 共同住宅・569.81 m ²	12/10・12 H27.1/6・7	遺構・遺物なし
堀尻遺跡 宅地造成・1,504 m ²	H27:3/3・10～ 12	縄文時代 遺物包含層 縄文式土器など ※原因者負担調査(H27 実施予定)

【主な経費】

- ・市内遺跡確認調査発掘作業委託料 600,169 円
- ・機器使用料（バックホウ使用料） 267,300 円

○ 効果

平成 26 年度は、7 遺跡 7 件の確認・発掘調査で、縄文時代から近世の街道跡までの遺跡を調査し、縄文土器などの貴重な資料が出土した。これらの調査により、重要な市内遺跡の破壊を防ぎ、貴重な資料を得ることができた。

【担当：教育総務課】 P.419

2501 埋蔵文化財センター活動に要する経費 723,578 円（676,065 円）

[一財 723,578 円]

○ 目的

文化財保護施設として、貴重な発掘出土品や歴史資料を収納するとともに、その整理・研究成果を市民に紹介するため、企画展示・講演会・講座を開催し、市民の歴史に対する関心や、文化財保護行政に関する理解を深める。

○ 内容

(1) 年間来館者数

年 度	平成 26 年度	平成 25 年度
来館者数	6,033 人	5,324 人

(2) 展示活動

展示名	期間	入場者数 (1日平均)	経費	内 容
第 35 回企画展 「中妻貝塚と 101 体人骨の謎 ～森と海と川 と貝塚のひと びと～」	2/17～4/25 開館日 68 日 内 4/1 以降 25 日	2,163 人 (31.8 人) 4/1～25 ま で 534 人 (21.4 人)	報償費、印刷 製本費は平 成 25 年度予 算で対応 (4/1 以降 は支出なし)	中妻貝塚で出土した 100 体以 上にも及ぶ多数合葬墓の人骨 の研究でわかった縄文時代の 人びとやその暮らしについて 研究成果とともに紹介した。
第 35 回企画展 「大地を切り 拓いた人びと」	7/22～9/19 開館日 52 日	1,442 人 (27.7 人)	報償費 30,000 円 印刷製本費 318,600 円 (ポスター、解説 図録)	開館 15 周年記念企画展第 1 弾 として現在の取手市域を形作 る基礎を築いた江戸時代初め の新田開発の歴史を紹介し た。 8/9 講演会「代官伊奈忠治と伊 奈氏代々」参加者 156 人 講師：西沢淳男氏（高崎経済 大学准教授） 文化財講座（8/2・16）参加者 計 121 人 講師：センター職員 歴史講座（9/6）参加者 82 人
第 36 回企画展 「よみがえる 文化財と郷土 の歩み」	2/17～4/25 開館 55 日 内 3/31 まで で 38 日	2,592 人 (47.1 人) 3/31 までで 1,961 人 (51.6 人)	報償費 30,000 円 印刷製本費 297,000 円 (ポスター、解説 図録)	15 周年記念企画展第 2 弾とし て新たに県指定文化財となっ た「東漸寺観音堂・山門」を始 め、解体復原工事を実施した 市内の指定文化財を紹介し た。 3/7 講演会「世界の茅葺き・日 本の茅葺き」参加者 113 名 講師：日塔和彦氏（茨城県文 化財保護審議委員、元東京芸 術大学客員教授） 指定文化財特別公開 県「東漸寺観音堂」（3/27～29） 見学者 計 468 人

○ 効果

平成 26 年度の来館者数は 6,033 人となり、センターの存在と活動が着実に市民に浸透し理解されてきたといえる。こうした活動により、市民の歴史への関心が深まり、文化財を大切にしたい気持ちや文化財保護行政に対する理解を得ることができた。

6 保健体育費 1 保健体育総務費

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 423

1001 スポーツ推進委員に要する経費 1,404,520 円 (1,190,360 円)

[一財 1,404,520 円]

○ 目的

市民の体力づくりと地域スポーツ活動の振興及び生涯スポーツの振興を図る。

○ 内容

市民のスポーツ活動促進のための組織の育成や、各種大会への指導助言と協力に努めた。

スポーツ推進委員報酬 日額 6,300 円×延べ 195 人=1,228,500 円

○ 効果

スポーツ推進委員の活動により、地域スポーツの振興が図られ、多くの市民の健康と体力づくりに寄与した。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 423

2001 スポーツ団体育成推進関係経費 9,241,000 円 (9,253,000 円)

[一財 9,241,000 円]

○ 目的

スポーツ団体を育成・支援することにより、市民全体の体力向上とスポーツの普及振興を図る。

○ 内容

団体名	団体数	会員数	活動内容
体育協会	32 部	7,159 人	体協親睦会・講演会の開催、視察研修 各種講習会の開催、機関紙の発行、市 主催行事への協力及び参加、競技別大 会の企画運営、指導者の育成
スポーツ少年団	9 連盟 37 単位団	指導者 313 人 団員 1,030 人	青少年のスポーツ指導、競技別大会、 教室の企画運営、認定員養成講習会、 取手ブロック近隣市町村交流会、市主 催行事への協力及び参加、各種講習・ 研修会への参加

○ 効果

体育協会は、自主事業の充実により市民全体の体力向上とスポーツの普及振興に寄与することができた。また、スポーツ少年団は、青少年のスポーツ指導はもちろんのこと認定員養成講習会や取手ブロック交流会等を継続して実施することにより、スポーツを通して地域における青少年の健全育成を図ることができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 425

2002 社会体育振興関係経費 904,457 円 (906,830 円)

[一財 904,457 円]

○ 目的

市民の健康・体力づくりとスポーツ振興を図る。

○ 内容

生涯スポーツを通じて、心身の健康を保持・増進できるよう、誰もが参加できる各種の大会や体験会を実施した。

各種大会等の開催

事業名	参加人数	場所
第19回 小学生ドッジボール大会	188人	取手グリーンスポーツセンター
第11回 市民親善ソフトボール大会	169人	取手緑地運動公園
第23回 ソフトバレーボール大会	260人	取手グリーンスポーツセンター
第15回 グラウンドゴルフ大会	173人	北浦川緑地
第43回 新春健康マラソン大会	1,933人	取手緑地運動公園
第22回 ふれあいウォーキング	112人	取手市役所地先
第9回 市民ペタンク大会	159人	北浦川緑地

○ 効果

各種大会を通じて小学生から高齢者まで幅広くスポーツの楽しさを広めるとともに、市民相互の交流が深められ、参加者の健康増進に寄与することができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 425

2003 スポーツ振興奨励関係経費 1,582,000円 (1,217,000円)

[一財 1,582,000円]

○ 目的

スポーツ大会出場奨励金を交付することにより、市民スポーツの高揚並びに競技意欲の向上を図る。また、選手も上位大会を目指すことができ、ひいては日本代表や国体選手の育成に繋がる措置である。

○ 内容

関東大会以上の大会に出場した者に対し、奨励金を支給することにより出場選手の負担の軽減と優秀選手の育成を図った。

奨励金交付対象 ・団体 20件 ・個人 44件

○ 効果

奨励金制度を活用することにより、選手の育成と市民におけるスポーツ振興及び団体の育成を図ることができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 425

2101 学校施設開放に要する経費 503,467円 (518,017円)

[一財 503,467円]

○ 目的

小中学校の学校体育施設を開放することにより、スポーツ振興と健康増進を図る。

○ 内容

市民が行うスポーツ・レクリエーション、文化的活動を支援するため、学校体育施設の開放を実施した。

年度	利用団体数	延利用人数	開放学校数
H26	241 団体	331,616 人	25 校
H25	256 団体	352,242 人	25 校

○ 効果

市民の健康、体力増進と学校体育施設の有効利用を図ることができた。

6 保健体育費 2 体育施設費

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 427

2001 取手グリーンスポーツセンター管理運営に要する経費 149,348,567 円
(143,516,665 円)

[国・県 11,900,000 円 その他 11,990,283 円 一財 125,458,284 円]

* 特財内訳

[国補：地域活性化・効果実感臨時交付金 11,900,000 円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 9,527,000 円]

[諸収入：グリーンスポーツセンター利益還元金 2,463,283 円]

○ 目的

市民スポーツの拠点となるグリーンスポーツセンターを多くの方に利用してもらうため、適正な維持管理を行うことで市民の健康増進とスポーツ団体相互の交流を深める。

○ 内容

平成 18 年度より、指定管理者による管理を実施している。

指定管理料 125,673,000 円

利用状況

(単位：人)

施設名	H26	H25	増減
室内プール	115,313	111,516	3,797
遊水プール	15,507	18,432	△2,925
第一体育室	65,398	62,143	3,255
第二体育室	10,203	9,506	697
トレーニング室	54,601	47,819	6,782
柔道場	14,118	13,891	227
剣道場	10,563	11,104	△541
弓道場	10,689	11,948	△1,259
健康相談室	53	36	17
スポーツ障害相談室	332	239	93
研修室	11,881	12,833	△952
会議室	892	956	△64
和室	769	827	△58
その他	14,662	19,251	△4,589
合計	324,981	320,501	4,480

○ 効果

近年は中高年者の利用も増加傾向にあり、市民のスポーツ振興の拠点として、健康増進に寄与することができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 427

2201 藤代スポーツセンター管理運営に要する経費 36,564,569円 (41,511,279円)

[その他 6,942,940円 一財 29,621,629円]

* 特財内訳

[使用料：テニスコート使用料 2,185,850円]

[使用料：野球場使用料 1,175,000円]

[使用料：多目的グラウンド使用料 322,750円]

[使用料：総合体育館使用料 2,625,980円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 600,000円]

[諸収入：コピー使用料 33,360円]

○ 目的

生涯スポーツ・健康づくりの拠点施設として、また憩いの場としての公園施設の維持・管理を行うことで、市民が快適な施設でスポーツを楽しむ場の提供を図る。

○ 内容

施設名	H26	H25	増減
アリーナ	30,879人	33,111人	△2,232人
レクリエーション室	5,089人	4,719人	370人
多目的グラウンド	7,822人	8,609人	△787人
野球場	9,682人	8,430人	1,252人
藤スポ・テニスコート	11,269人	10,931人	338人
会議室	638人	934人	△296人
合計	65,379人	66,734人	△1,355人

○ 効果

施設的环境美化保全に努めながら、円滑な管理運営を図ることができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 429

2301 藤代武道場管理運営に要する経費 5,764,452円 (5,812,225円)

[その他 1,866,475円 一財 3,897,977円]

* 特財内訳

[使用料：藤代武道場使用料 1,866,475円]

○ 目的

生涯スポーツ・健康づくりの拠点として、武道場（柔道場・剣道場・弓道場）の維持・管理を行うことで、市民が快適な施設でスポーツを楽しむ場の提供を図る。

○ 内容

施設名	H26	H25	増減
柔道場	9,379人	9,245人	134人
剣道場	10,366人	11,328人	△962人
弓道場	617人	2,208人	△1,591人
師範室	386人	812人	△426人
合計	20,748人	23,593人	△2,845人

○ 効果

施設の環境美化保全に努めながら、円滑な管理運営を図ることができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 431

2401 社会体育施設管理に要する経費 1,892,093 円 (5,581,460 円)

[その他 150,600 円 一財 1,741,493 円]

* 特財内訳

[使用料：高須体育館使用料 150,600 円]

○ 目的

生涯スポーツ・健康づくりの拠点として、施設の維持管理を行うことで、市民が快適な施設でスポーツを楽しむ場の提供を図る。

○ 内容

高須体育館	H26	H25	増 減
延利用人数	5,731 人	6,213 人	△482 人

○ 効果

施設の環境美化保全に努めながら、円滑な管理運営を図ることができた。

6 保健体育費 3 学校給食センター費

[担当：学務給食課] P. 433

2001 給食センター運営に要する経費 137,084,412 円 (131,471,807 円)

[国・県 178,000 円 その他 126,387,731 円 一財 10,518,681 円]

* 特財内訳

[県補：米飯給食推進事業補助金 178,000 円]

[諸収入：幼稚園給食代 2,514,965 円]

[諸収入：小学校給食代（センター分） 81,689,610 円]

[諸収入：中学校給食代（センター分） 42,183,156 円]

○ 目的

学校給食の安全と円滑な運営を図る。

○ 内容

給食センターを運営するための経費で、給食臨時職員賃金、消耗品、燃料費、賄材料費、手数料（職員保菌検査、食材検査、細菌ふき取り検査）、及び負担金等である。

○ 効果

内容豊かな給食の提供、給食環境の充実で、支障なく運営することができた。

[担当：学務給食課] P. 433

2101 給食センター施設整備に要する経費 32,184,400 円 (34,424,129 円)

[その他 1,000,000 円 一財 31,184,400 円]

* 特財内訳

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 1,000,000 円]

○ 目的

給食センターの施設管理等の充実を図る。

○ 内容

安全な給食を提供するための維持管理経費である。

(1) 需用費

(単位：円)

項 目	内 容	金 額
光熱水費	水道料、電気料、ガス代	7,501,005
修繕料	調理器具等修繕料	2,556,261

(2) 委託料

(単位：円)

項 目	内 容	金 額
給食運搬業務委託料	2 台の配送車による各学校への給食運搬業務	12,046,320
電気保安業務委託料	電気設備の安全管理	123,120
受水槽清掃委託料	受水槽の清掃	102,600
真空冷却機点検委託料	真空冷却機の点検	302,400
ガス空調機保守点検委託料	ガス空調機保守点検	367,200
汚水・排水処理施設清掃点検委託料	排水処理施設保守点検・浄化槽油脂の汲取り	2,047,680
ボイラー運転・管理委託料	一級ボイラー技士による運転管理	5,158,080
ボイラー設備総合管理委託料	ボイラーストレージタンク・ボイラー水の中和装置の点検整備・重油タンク清掃・ボイラー排ガス測定	810,000
冷凍・冷蔵設備保守点検委託料	冷凍・冷蔵設備の点検	129,600
高窓・排気ダクト清掃委託料	高窓・燃焼排気ダクトの清掃	183,600
警備委託料	施設警備	172,368
害虫駆除委託料	害虫の駆除	75,600

○ 効果

給食の安全性がさらに高まり、小学校 6 校、中学校 2 校、幼稚園 1 園に予定どおりの給食を提供することができた。